

令和6年度第2回磐田市地域公共交通会議次第

日時 令和7年1月17日（金）午後2時～

場所 ワークピア磐田2階視聴覚室

1 開会

2 会長挨拶

3 協議事項

議案第1号 令和6年度地域間幹線系統に関する事業評価について

議案第2号 デマンド型乗合タクシーの自己評価について

議案第3号 単独継続困難申出路線及び市自主運行申出路線について

議案第4号 デマンド型乗合タクシーの運行内容の変更について

4 報告事項

報告第1号 令和6年度第1回磐田市地域公共交通会議検討部会報告について

磐田市地域公共交通会議委員名簿

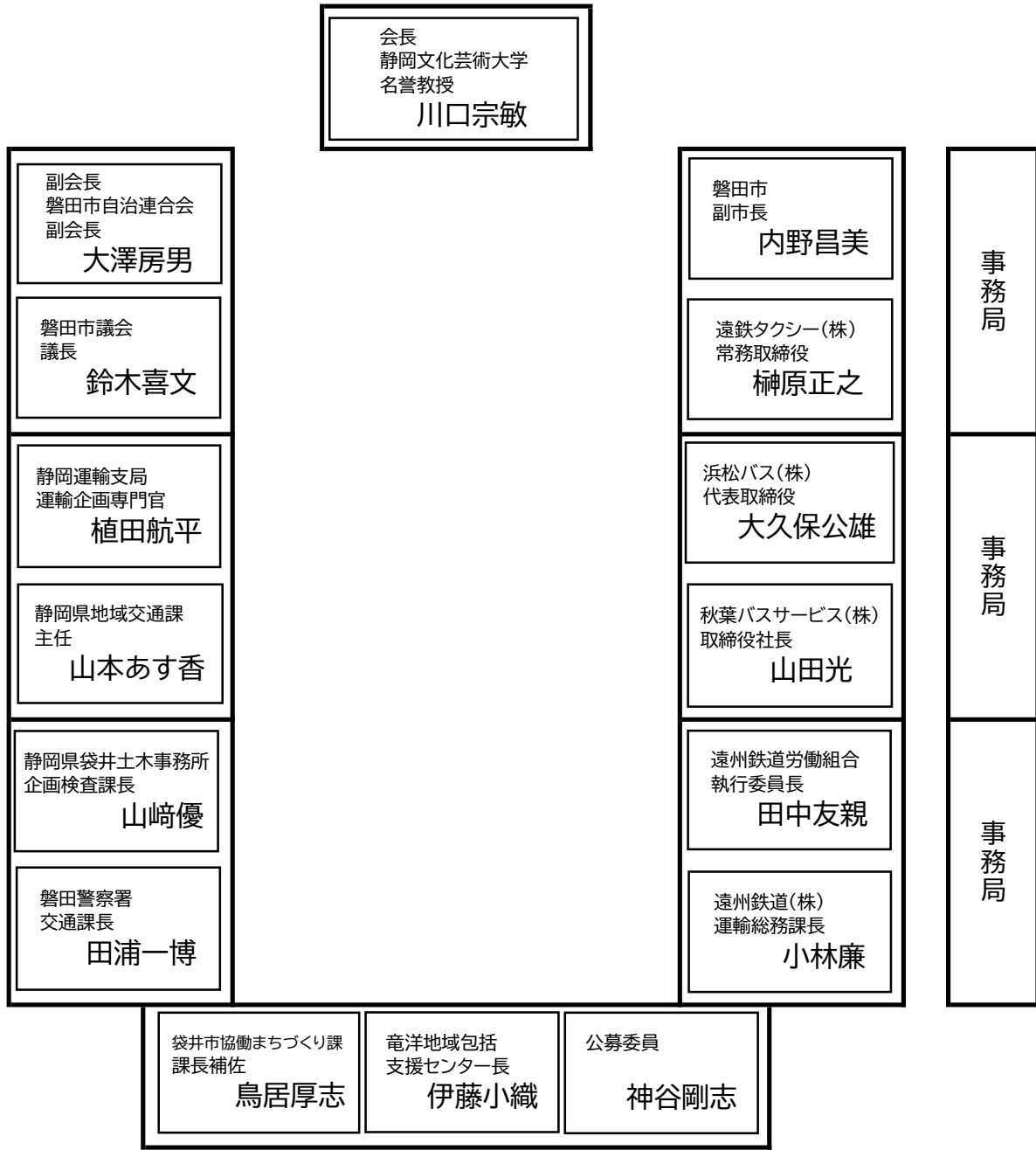
任期：令和5年6月1日～令和8年5月31日

(敬称略)

No.	役職	区分	所属・役職		氏名	備考
1	会長	学識経験者	静岡文化芸術大学	名誉教授	川口 宗敏	
2		市議会の議員	磐田市議会	議長	鈴木 喜文	
3		関係行政機関の職員	中部運輸局静岡運輸支局	首席運輸企画専門官	増田 秀典	代理出席者 運輸企画専門官 植田 航平
4		関係行政機関の職員	静岡県交通基盤部都市局	地域交通課長	片山 広文	代理出席者 主任 山本 あす香
5		関係行政機関の職員	静岡県袋井土木事務所	企画検査課長	山崎 優	
6		関係行政機関の職員	磐田警察署	交通課長	田浦 一博	
7		関係行政機関の職員	袋井市	総務部長	村田 雅俊	代理出席者 課長補佐 鳥居 厚志
8	副会長	市民の代表者	磐田市自治会連合会	副会長	大澤 房男	
9		市民の代表者	磐田市竜洋 地域包括支援センター	センター長	伊藤 小織	
10		市民の代表者	磐田商工会議所	専務理事	平谷 均	欠席
11		市民の代表者	磐田市老人クラブ連合会	副会長	山下 六機	欠席
12		市民の代表者	磐田市民生委員 児童委員協議会	副会長	富田 倫代	欠席
13		市民の代表者	公募委員		神谷 剛志	
14		公共交通事業者	遠州鉄道株式会社	運輸事業部長	石田 博久	代理出席者 運輸総務課長 小林 廉
15		公共交通事業者	遠州鉄道労働組合	執行委員長	田中 友親	
16		公共交通事業者	秋葉バスサービス株式会社	取締役社長	山田 光	
17		公共交通事業者	浜松バス株式会社	代表取締役	大久保 公雄	
18		公共交通事業者	静岡県バス協会	専務理事	堀内 哲郎	欠席
19		公共交通事業者	遠鉄タクシー株式会社	常務取締役 運行営業部長	榊原 正之	
20		市の職員	磐田市	副市長	内野 昌美	

令和6年度 第2回 磐田市地域公共交通会議 座席表

(敬称略)



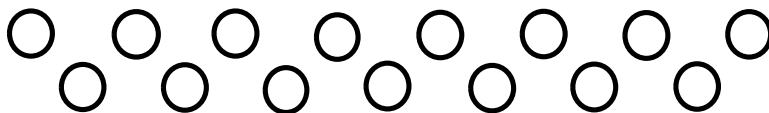
随 行 席

随 行 席

随 行 席

報 道 席

傍聴15席

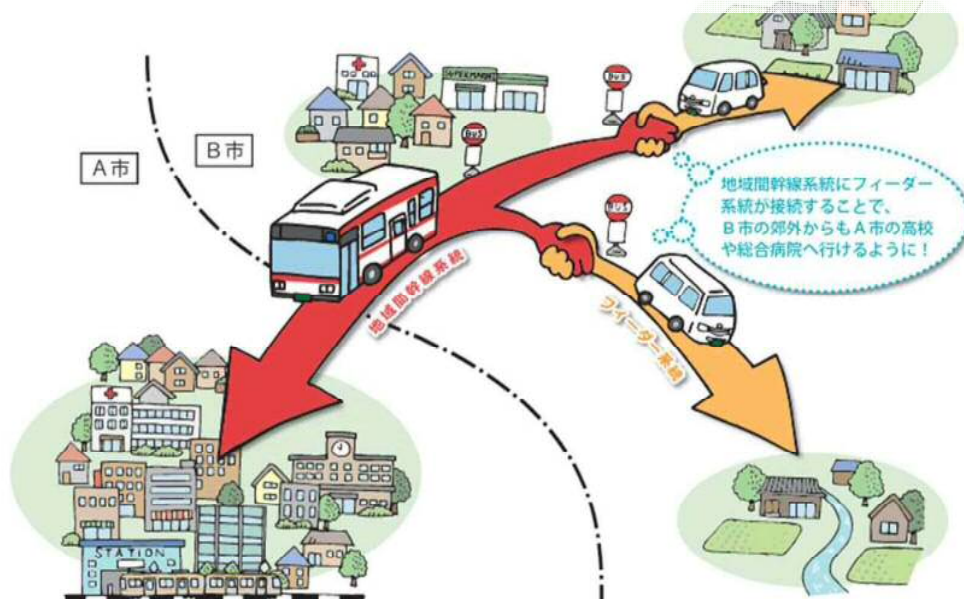


令和6年度 地域間幹線系統に関する事業評価

静岡県交通基盤部都市局地域交通課

地域間幹線系統とは

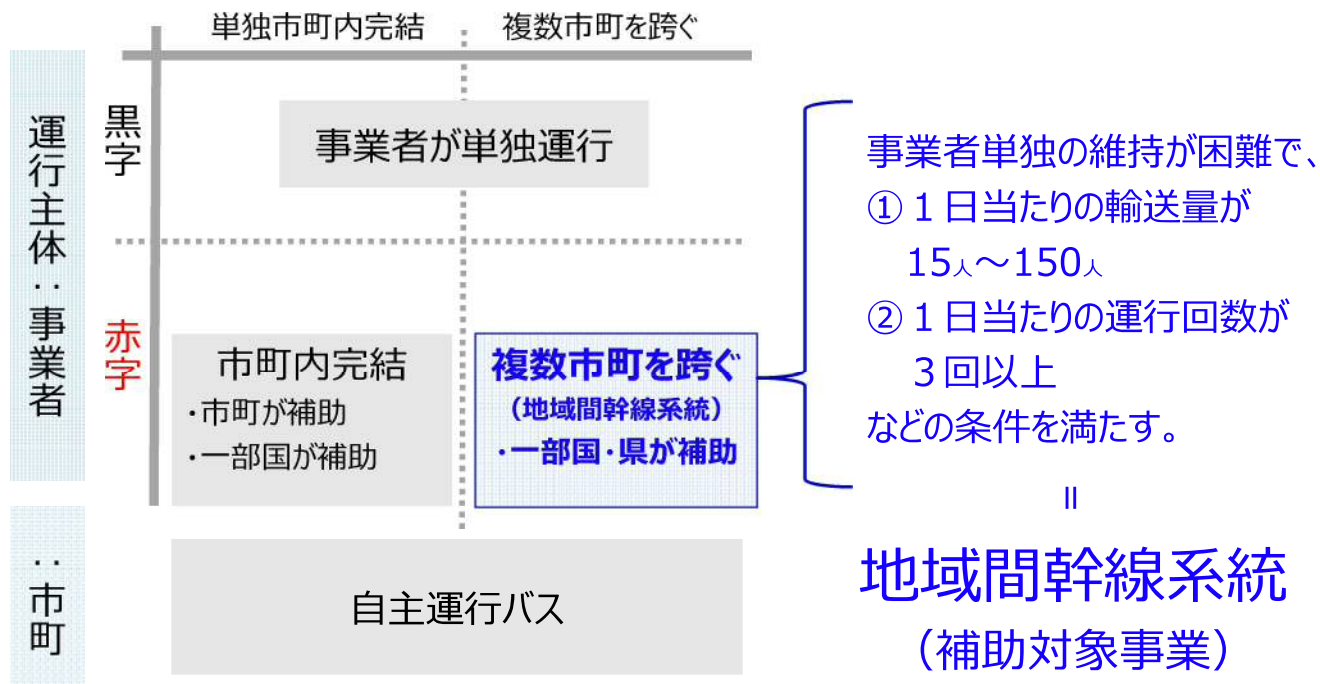
日常生活における通勤、通学、通院の流動実態等から、結びつきの強い市町の組み合わせを**交通圏**として設定。(出典：中部運輸局「中部の交通圏」)
圏内や圏域を跨ぐ**広域的な移動を支える**一つの手段が「**地域間幹線系統**」です。



出典：地域間幹線バスが地域で役立つようにするために(監修：中部運輸局)

地域間幹線系統に係る国・県の補助対象事業

収支から見る乗合バス事業の全体像と幹線系統の位置付け



2

地域間幹線系統の評価(なぜ評価を行うのか)

○補助対象事業が適切に行われているか確認する

○評価結果を分析し、事業改善に繋げる

→ 補助対象事業をより効果的、効率的に実施するため

(参考) 事業評価実施の根拠

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

第3条

5 協議会※は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

※本県においては県地域公共交通活性化協議会バス専門部会(旧静岡県生活交通確保対策協議会)を指す。

3

静岡県地域間幹線系統評価基準（新）

次の項目を点数化し、合計点をA・B・Cで評価

項目	評価する内容	評価
①運行回数	実績値（補助要件を満たしているか）	3回/日以上：10点 3回/日未満：0点
②輸送量	実績値（補助要件を満たしているか）	20人/日以上：30点 15人/日以上20人/日未満：5点 15人/日未満：0点
③収支率	実績値	50%以上：20点（満点）、25%未満：3点 25%～50%は3～6点を加算
④乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：20点（満点）、0～5%増：15点、 0～5%減：6点、5%以上減：3点
⑤ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑥広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	50%以上：10点（満点） 5%未満：0点（5%毎に2～3点加算）
合計		A評価：86点以上 B評価：66～85点 C評価：51～65点 D評価：50点未満

4

〈参考〉静岡県地域間幹線系統評価基準（旧）

次の項目を点数化し、合計点をA・B・Cで評価

項目	評価する内容	評価
①運行回数	計画値に対する実績値	計画数以上：3点 計画数未満：0点
②収支率	実績値	30%未満：0点（5%毎に3点加算） 55%以上：18点（満点）
③乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：6点、△5%以上5%未満：3点 △5%超：0点
④ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑤広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	5%未満：0点（5%毎に5点加算） 20%以上：20点（満点）
⑥キロ当たり経費	国が示す標準単価との比較	単価以上：0点（△5%毎に5点加算） △15%超：12点
合計		A評価：52～79点 B評価：26～51点 C評価：0～25点

地域間幹線系統評価基準 主な変更点①

1 評価項目を「補助基準」「実施状況」「幹線性・広域性」に分類

項目	評価のポイント
補助基準	国・県の補助基準を満たしているか
実施状況	事業は効果的に実施されたか
幹線性・広域性	地域間幹線系統としての役割を果たしているか

2 評価項目に「輸送量」を追加(補助要件:15人/日)

結果	評価のポイント
15人/日～20人/日	今後利用者が減ると補助要件を満たさなくなるおそれがあるため、改善に向けた利用促進等の努力が必要
15人/日未満	今回から直ちに補助対象外となるわけではないが、今後の計画で補助を受けられなくなるおそれがあるため、見直しを含めた路線のあり方の検討が必要

6

地域間幹線系統評価基準 主な変更点②

3 評価指標を「A・B・C」の3段階から「A・B・C・D」の4段階に変更

指標	点数	評価のポイント
A	86点以上	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B	66点～85点	地域間幹線系統として適した運行となっている
C	51点～65点	改善に向け努力を要する
D	50点以下	見直しを含めた路線のあり方の検討が必要

※C・D評価の系統については、今後国、県の補助要件を満たさなくなるおそれがある。

4 評価対象から「キロ当たり経費」を除外

物価高騰や運転士確保のための処遇改善など、路線維持のために経費が上がっていることから、評価対象から「キロ当たり経費」を除外

7

令和6年度の評価結果

※詳細は別添

	A評価	B評価	C評価	D評価	系統数
山梨交通			1		1
秋葉バスサービス	2	1		1	4
遠州鉄道	10	5		1	16
しずてつジャストライン	4	6		1	11
富士急モビリティ	4				4
富士急バス	2				2
富士急静岡バス	1	1	2		4
富士急シティバス		6			6
伊豆箱根バス	1	2			3
東海バス	7	1			8
合計	31	22	3	3	59

8

評価結果内訳

○事業者ごとの系統別の評価

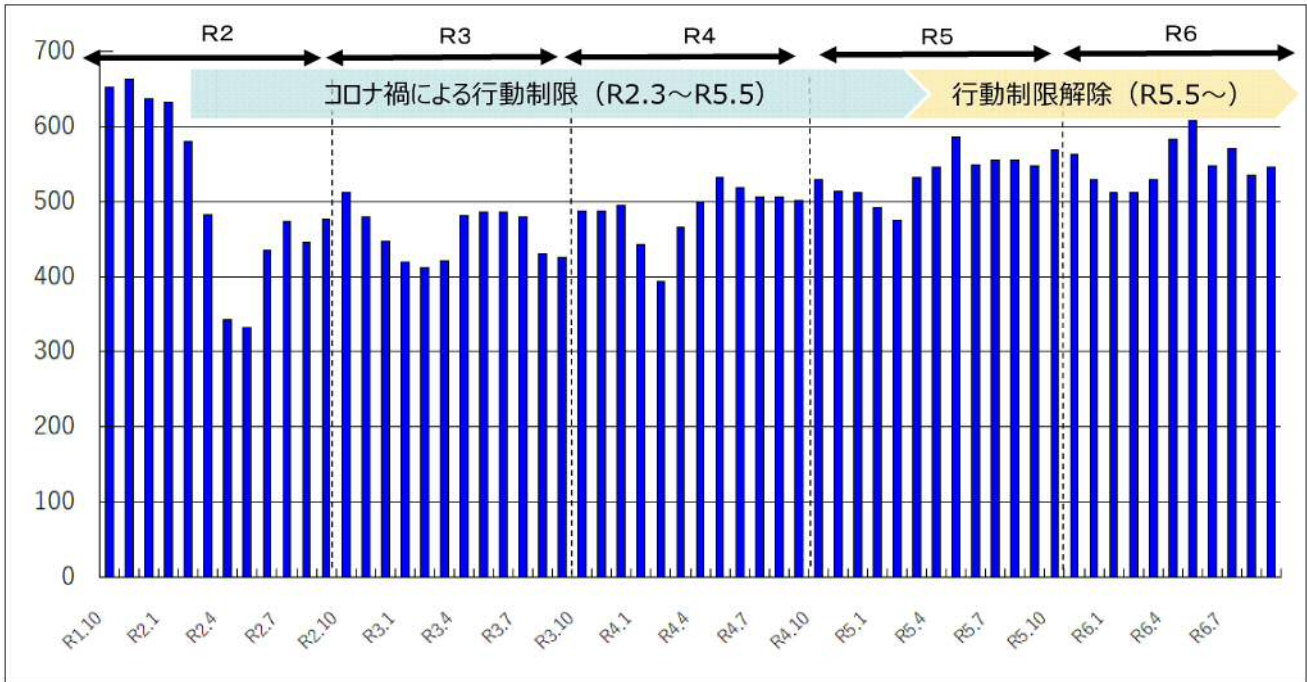
事業者名	系統名	R6	事業者名	系統名	R6	事業者名	系統名	R6
1 山梨交通	富士宮駅～イオン・星山台～徳原病院	C	22	三保草薙線	B	43	駿河平線	B
2 秋葉バスサービス	秋葉線	D	23	五十海大住線	B	44	須山線	B
3	秋葉中遠線	A	24	焼津岡部線	B	45	原線	B
4	秋葉中遠線	A	25	藤枝吉永線	A	46	桜堤線	B
5	秋葉中遠線	B	26	島田静波線	A	47	がんセンター線	B
6	浜北医大三方原聖隷線	B	27	しずてつジャストライン 島田静波線	B	48	がんセンター線	B
7	磐田市立病院福田線	A	28	藤枝相良線	B	49	伊豆箱根バス 沼津大岡三島線	A
8	中ノ町磐田線	B	29	菊川浜岡線	A	50	長岡伊豆三津シーパラダイス線	B
9	秋葉線	B	30	掛川大東浜岡線	A	51	沼津静浦長岡線	B
10	磐田天竜線	A	31	掛川大東浜岡線	B	52	石廊崎線	A
11	磐田天竜線	B	32	掛川大東浜岡線	D	53	天城峠線	A
12	掛塚さなる台線	A	33	御殿場線	A	54	戸田線	A
13	遠州鉄道 内野台線	A	34	富士急モビリティ 駿河小山線	A	55	西海岸線	A
14	内野台線	B	35	十里木線	A	56	バサラ峠線	A
15	磐田市立病院福田線	D	36	河口湖線	A	57	バサラ峠線	A
16	引佐線	A	37	富士急バス 河口湖線	A	58	下賀茂線	A
17	萩丘都田線	A	38	新富士線	A	59	柿田線	B
18	大塚ひとみヶ丘線	A	39	曾比奈線	C			
19	気賀三ヶ日線	A	40	富士急静岡バス 大淵線	C			
20	奥山線	A	41	大月線	A			
21	掛塚さなる台線	A	42	大月線	B			

※本年度の評価結果内訳は別添資料参照

〈参考〉県内の乗合バス利用者の推移

(R1.10~R6.9)

(単位:万人)



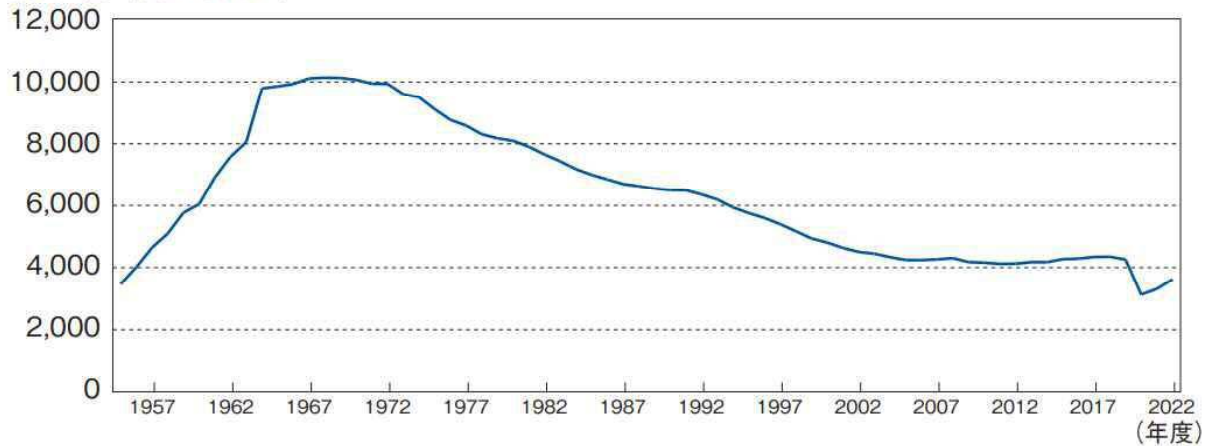
(静岡県地域交通課調査)

10

〈参考〉国内の一般路線バス輸送人員の推移

図表1-3-1-7 一般路線バス輸送人員の推移

輸送人員 (単位:百万人)



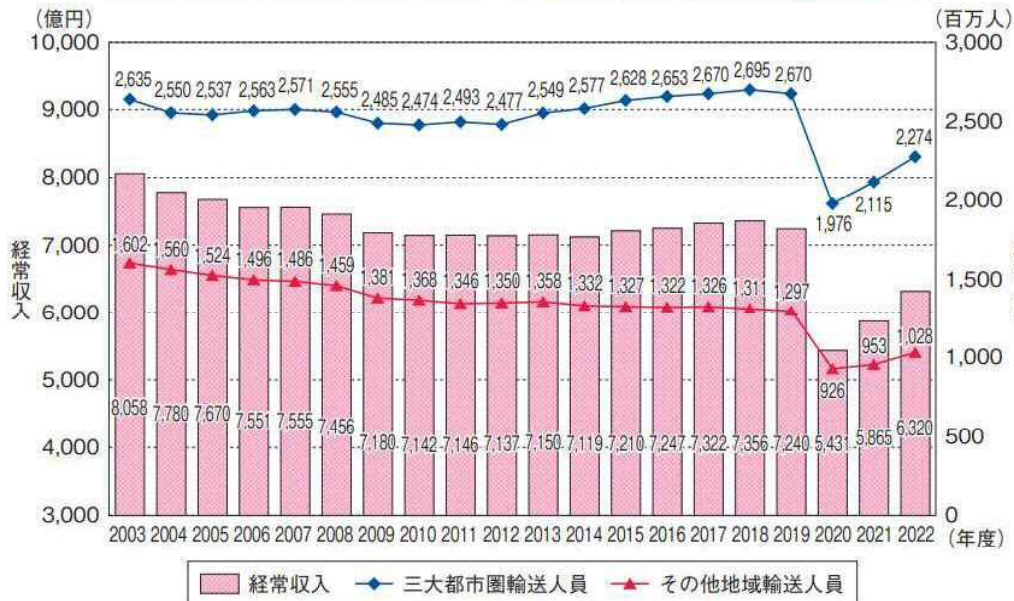
資料:「自動車輸送統計調査」から国土交通省総合政策局作成

(出典:国作成資料令和5(2023)年度交通の動向)

11

〈参考〉一般路線バスの輸送人員、経常収入の推移

図表1-3-1-8 都市部・地方部別の一般路線バスの輸送人員、経常収入の推移



注1：各数値データは、乗合バスの保有車両数が30両以上のバス事業者のデータを採用。
 注2：三大都市圏とは、埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、三重、岐阜、大阪、京都、兵庫である。
 資料：国土交通省物流・自動車局作成

(出典：国作成資料令和5(2023)年度交通の動向)

12

事業者、自治体の連携による利用促進の取組



実施日

令和6年12月7日(土)・8日(日)

対象路線

県内全域の約400路線 (路線バス、コミュニティバス含む)

対象者

県内の学校に通う小学生約17万3000人
 ※リーフレット配布部数

(同規模での小学生を対象としたバス無料デーは全国初)

掲載メディア

- ・NHK放送局、静岡第一テレビ、静岡朝日テレビ、静岡朝日テレビ (Web)、静岡新聞SBS (アットエス)、くふうロコずおか (Web)
- ・SBSラジオ (IPPO)、FMHaro
- ・静岡新聞、中日新聞、読売新聞

効果検証

- ・無料対象路線での乗車人員調査、小学生や保護者を対象としたアンケートなどを基に実施効果を検証 (公表は2～3月を予定)



13

令和6年度地域間幹線系統の事業評価結果（概要）

1 事業評価の目的

事業評価は、静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会が定めた静岡県地域公共交通計画に位置づけられた補助対象系統（地域間幹線系統）について、事業の実施状況の確認や目標の達成状況等の評価を行い、市町が開催する地域公共交通会議等における評価内容に対する議論・検討の活性化や広く県民に内容を公表することによる理解の促進など、補助対象事業が効果的、効率的に実施されることを目的として実施している。

なお、令和6年度評価では、より実態を反映した評価となるよう、国補助要件となっている「輸送量」を評価項目に加える等の見直しを行った（見直しのポイントは別紙のとおり）。

2 評価項目

評価の観点	評価項目	説明
補助基準	運行回数	実績運行回数が補助要件を満たしているかを評価
	輸送量	実績輸送量が補助要件を満たしているかを評価
実施状況	収支率	実績値を評価(収支率 50%以上満点)
	乗車人員	計画値に対する実績値を評価(+5%以上満点)
幹線性・広域性	ネットワーク構成	他の系統と乗換可能なアクセス拠点数及びバス停数を評価(10点満点)
	広域トリップ状況	バス利用者の市町を跨ぐ移動割合を評価(50%以上満点)
説明事項	(点数なし)	利用実態等を含めた当該系統の運行目的等
事業者の取組		路線維持のための増収策、路線維持のための費用削減策

【各項目に評価点を設定し、合計点に応じて以下のとおり評価】

評価	内容
A (86点以上)	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B (66～85点)	地域間幹線系統として適した運行となっている
C (51～65点)	地域間幹線系統として改善に努力を要する
D (0～50点)	地域間幹線系統として見直しの検討を要する

3 事業評価結果の概要

全体評価：B（参考※：R3～4：B、R5：A）※R5以前の評価はR6と評価基準が異なるため参考

- ・評価対象系統全59系統中、A評価：31系統、B評価：22系統、C評価：3系統、D評価：3系統
- ・平均点数が83.1点であることから、全体評価を『B』とした。
- ・各系統の評価結果は別添「令和6年度地域間幹線系統総合評価一覧表」のとおり。

(別紙)

見直しのポイント

- ・評価項目を「補助基準」「実施状況」「幹線性・広域性」の3部門に整理した
- ・「補助基準」「実施状況」を各40点満点、「幹線性・広域性」を20点満点とし、系統の特性よりも補助要件を満たしているかや、補助系統の実施状況を重視した『実績指向型』に見直しを行った

区分	評価の考え方	見直し内容
①補助基準	国・県の補助金を満たしているか	・運行回数に加え、新たに輸送量を評価基準に追加
②実施状況	事業は効果的に実施されたか	・従前の収支率、乗車人員の評価を採用 ・収支率、乗車人員は実績に比例した配点とする ・キロ当たり経費は、コロナ後の物価高騰や運転士不足等の社会情勢の変化をふまえ、基準単価（ブロック単価）との比較による評価は行わない
③幹線性・広域性	地域間幹線系統としての役割を果たしているか	・従前のネットワーク構成、広域トリップ率を採用 ・ネットワーク構成は経路が変わらない限り、系統固有の加点 ・広域トリップ状況は実績に比例、5%に満たない場合は幹線系統としての役割が僅少であるため0点
④合計	-	・評価の合計点（満点）を79点から100点に変更 ・評価指標を「A・B・C」の3段階から「A・B・C・D」の4段階に変更 A：86点以上 （幹線系統として優れた役割を果たしている） B：66点～85点 （幹線系統として適した運行となっている） C：51点～65点未満 （改善に向け努力を要する） D：50点未満 （見直しを含めた路線のあり方の検討が必要）

令和6年度地域間幹線系統総合評価一覧表

事業者名	系統名	補助基盤(40点)		実施状況(40点)		幹線性・広域性(20点)		点数	評価					事業者平均	全体評価		
		運行回数 (10点)	乗員輸送量 (30点)	収支率 (15点)	乗車人員 (15点)	ネットワーク (10点)	広域トリップ (10点)		A 86~100	B 66~85	C 51~65	D 0~50	計				
山梨交通	1 富士宮駅・刈谷・皇山台・浦原病院線	10	5	15	20	32	6	11	58					1	58.0		
	2 秋葉線(袋井駅前～遠州森町～須多)	10	0	10	3	6	10	15	31								
	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	10	30	40	15	35	10	15	90						4	71.0	
	4 秋葉中遠線(大東支所～須賀野車庫前～袋井駅前)	10	30	40	15	20	6	14	89								
	5 秋葉中遠線(横須賀車庫前～新聞橋～袋井駅前)	10	30	40	15	6	21	5	74								
	6 浜北医大三方原聖隷	10	30	40	12	3	15	8	73								
	7 磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	10	30	40	15	20	35	7	87								
	8 中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)	10	30	40	20	6	26	9	14	80							
	9 秋葉線(香野車庫～西鹿島駅～厚生倉)	10	30	40	12	15	27	7	15	82							
	10 磐田天童線(山東～新聞～磐田駅)	10	30	40	20	20	40	8	10	18	98						
遠州鉄道	11 磐田天童線(ならほ～七経由)	10	30	40	15	3	18	8	16	74							
	12 掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	10	30	40	20	40	9	8	17	97							
	13 内野台線(内野台車庫)	10	30	40	20	15	35	10	18	93					16	85.9	
	14 内野台線(サントリート浜北)	10	30	40	15	6	21	8	18	79							
	15 磐田市立病院福田線(磐田駅前～豊浜郵便局)	10	5	15	15	3	18	5	10	15	48						
	16 弓佐線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98						
	17 萩丘郡田線	10	30	40	20	15	35	10	5	15	90						
	18 大塚ひとみヶ丘線	10	30	40	20	20	40	10	0	10	90						
	19 気賀三ヶ日線	10	30	40	20	20	40	10	5	15	95						
	20 奥山線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98						
しずてつジャストライン	21 掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	10	30	40	20	40	8	5	13	93							
	22 三原草線	10	30	40	15	15	30	10	2	12	82						
	23 五十海大住線	10	30	40	12	3	15	10	8	18	73						
	24 焼津岡部線	10	30	40	15	3	18	6	10	16	74						
	25 藤枝吉永線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98						
	26 島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	10	30	40	12	3	15	10	10	20	92						
	27 島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)	10	30	40	12	3	15	10	10	20	75						
	28 藤枝相良線	10	30	40	15	6	21	10	20	81							
	29 菊川浜岡線	10	30	40	20	20	40	5	8	13	93						
	30 掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	10	30	40	12	20	32	9	10	19	91						
富士急モビリティ	31 掛川大東浜岡線(中東支所～医療センター～浜岡営業所)	10	30	40	20	3	23	10	10	20	83						
	32 掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	10	0	10	3	6	10	4	10	14	30						
	33 御殿場線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98						
	34 駿河小山線	10	30	40	20	6	26	10	10	20	86						
	35 十里木線	10	30	40	20	15	35	8	10	18	93						
	36 河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100						
	37 河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100						
	38 新富士線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100						
	39 豊比奈線	10	5	15	20	3	23	8	10	18	56						
	40 大淵線	10	5	15	20	3	23	10	10	20	58						
富士急静岡バス	41 大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	10	30	40	20	6	26	10	10	20	86						
	42 大月線(新富士駅～静岡自動車富士山世界遺産センター)	10	5	15	20	20	40	10	10	20	75						
	43 駿河平線	10	30	40	20	3	23	8	16	79							
	44 須山線(三島駅～須山)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81						
	45 原線	10	30	40	20	3	23	10	2	12	75						
	46 桜塚線	10	30	40	20	6	26	7	10	17	83						
	47 がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	10	30	40	20	3	23	6	5	11	74						
	48 がんセンター線(三島駅～がんセンター)	10	30	40	20	3	23	6	10	16	79						
	49 沼津大岡三島線	10	30	40	20	6	26	10	10	20	86						
	50 沼津静浦長岡線	10	30	40	20	3	23	7	5	12	75						
伊豆箱根バス	51 沼津静浦長岡線	10	30	40	20	3	23	7	5	12	75						
	52 五箇峰線	10	30	40	20	40	7	8	15	95							
	53 天城峠線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98						
	54 戸田線	10	30	40	20	20	40	7	8	15	95						
	55 西海岸線	10	30	40	20	15	35	10	10	20	95						
東海バス	56 ハサハラ峠線(下田駅～磐城島)	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100						
	57 ハサハラ峠線(下田駅～手久須)	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100						
	58 下貫茂線	10	30	40	15	15	30	7	10	17	87						
	59 柿田線	10	30	40	20	3	23	10	10	20	83						
	計								83.1	31	22	3	3	59			

【全体評価の理由】
-平均評価点数が83.1点である。

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
遠州鉄道株式会社	磐田市立病院福田	磐田市立病院	磐田駅	豊浜郵便局
系統キロ程	関係市町			
19.6 km	磐田市			

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績	
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—	
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	5.8 回/日	10	5.8 回/日	
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	24.9 人/日	30	27.2 人/日	
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—	
収支率 (20)	収入を確保できているか	50.1 %	20	57.1 %	
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績	83,767 人	20	96,148 人
		計画	77,915 人		85,690 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—	
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点	1 箇所	7	1 箇所
		乗継バス停	5 箇所		5 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移 動はされているか	28.3 %	5	29.5 %	

補助基準	40 /40
実施状況	40 /40
幹線性・広域性	12 /20
合計	92 /100

評価指標
A

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
 B : 幹線として適した運行となっている
 C : 改善に努力を要する
 D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	旧福田町から磐田駅を經由し、磐田市立病院へと至る路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学及び通院の手段として、欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 磐田駅
	(乗継ぎバス停) 西坂町・加茂川・新道・前嶋・福田車庫
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 磐田南高・磐田北小・磐田市役所・磐田市福田支所・新都市病院・磐田市立病院・JR磐田駅

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①定期券ネット販売の認知度及びサービスの向上を図る。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売するなど、MaaSアプリによるサービスの向上を図る。 ③運賃箱から取得されるバスの運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成する。</p> <p>【実績】</p> <p>①定期券の新規定期券においては高校へ進学する学生をターゲットとした周知活動を展開。継続定期券についてはキャンペーンを展開し認知向上に努めた。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、継続してデジタルフリー乗車券を販売。 ③旅客動向の分析を行い、令和5年10月と令和6年3月にダイヤ改正を実施。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①デジタルタグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③点呼業務のデジタル化やAIで交番が自動作成できる仕組みを活用し、運行管理業務を省力化することで固定費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R6年6月) 磐田駅前店 月曜日の営業を定休日に変更。土曜日の営業時間を30分短縮 (R6年9月) バスターミナル忘れ物コーナー 水曜日定休を設ける ③乗務員交番作成をAIを使用し自動化する取り組みを継続し、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。 また、本社、営業所間、営業所内の様々な情報の共有をLINEWORKSを活用し実施することで、情報共有の効率的な運用を実現した。</p>

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
遠州鉄道株式会社	中ノ町磐田	浜松駅	中ノ町	磐田営業所
系統キロ程	関係市町			
17.5 km	浜松市	磐田市		

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績	
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—	
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	13.8 回/日	10	13.8 回/日	
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	80.0 人/日	30	85.5 人/日	
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—	
収支率 (20)	収入を確保できているか	60.7 %	20	67.8 %	
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績	263,371 人	6	290,160 人
		計画	264,673 人		262,770 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—	
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点	2 箇所	9	2 箇所
		乗継バス停	5 箇所		5 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移 動はされているか	11.3 %	5	11.9 %	

補助基準	40 /40
実施状況	26 /40
幹線性・広域性	14 /20
合計	80 /100

評価指標
B

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
 B : 幹線として適した運行となっている
 C : 改善に努力を要する
 D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	浜松駅から旧豊田町、磐田駅を經由し、磐田市東部に至る路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学的手段としての他、JR駅への接続の手段として欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 浜松駅バスターミナル・磐田駅
	(乗継ぎバス停) 広小路・子安・磐田石原・加茂川・磐田営業所
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 西遠学園・磐田西高・磐田南高・中ノ町小学校・磐田西小・磐田市役所・JR浜松駅・JR磐田駅

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①定期券ネット販売の認知度及びサービスの向上を図る。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売するなど、MaaSアプリによるサービスの向上を図る。 ③運賃箱から取得されるバスの運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成する。</p> <p>【実績】</p> <p>①定期券の新規定期券においては高校へ進学する学生をターゲットとした周知活動を展開。継続定期券についてはキャンペーンを展開し認知向上に努めた。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、継続してデジタルフリー乗車券を販売。 ③旅客動向の分析を行い、令和5年10月と令和6年3月にダイヤ改正を実施。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①デジタルタログラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③点呼業務のデジタル化やAIで交番が自動作成できる仕組みを活用し、運行管理業務を省力化することで固定費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタログラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R6年6月) 磐田駅前店 月曜日の営業を定休日に変更。土曜日の営業時間を30分短縮 (R6年9月) バスターミナル忘れ物コーナー 水曜日定休を設ける ③乗務員交番作成をAIを使用し自動化する取り組みを継続し、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。 また、本社、営業所間、営業所内の様々な情報の共有をLINEWORKSを活用し実施することで、情報共有の効率的な運用を実現した。</p>

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
遠州鉄道株式会社	磐田天竜	山東	新開	磐田駅
系統キロ程	関係市町			
21.7 km	浜松市	磐田市		

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績	
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—	
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	4.9 回/日	10	4.9 回/日	
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	25.9 人/日	30	28.4 人/日	
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—	
収支率 (20)	収入を確保できているか	55.4 %	20	63.7 %	
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績	66,324 人	20	72,244 人
		計画	60,817 人		61,130 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—	
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点	2 箇所	8	2 箇所
		乗継バス停	4 箇所		4 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移 動はされているか	71.1 %	10	73.4 %	

補助基準	40 /40
実施状況	40 /40
幹線性・広域性	18 /20
合計	98 /100

評価指標
A

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
 B : 幹線として適した運行となっている
 C : 改善に努力を要する
 D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	旧天竜市中心部と磐田市中心部を結ぶ路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学及び日中の移動の手段として、欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 二俣駅・磐田駅
	(乗継ぎバス停) 山東・秋野不矩美術館入口・西坂町・加茂川
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 天竜高校・磐田農業高校・磐田南高・磐田西小・磐田市役所・中遠総合庁舎・磐田市立中央図書館・天竜区役所・JR磐田駅・遠鉄西鹿島駅・天浜豊岡駅・天浜二俣駅

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①定期券ネット販売の認知度及びサービスの向上を図る。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売するなど、MaaSアプリによるサービスの向上を図る。 ③運賃箱から取得されるバスの運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成する。</p> <p>【実績】</p> <p>①定期券の新規定期券においては高校へ進学する学生をターゲットとした周知活動を展開。継続定期券についてはキャンペーンを展開し認知向上に努めた。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、継続してデジタルフリー乗車券を販売。 ③旅客動向の分析を行い、令和5年10月と令和6年3月にダイヤ改正を実施。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①デジタルタログラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③点呼業務のデジタル化やAIで交番が自動作成できる仕組みを活用し、運行管理業務を省力化することで固定費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタログラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R6年6月) 磐田駅前店 月曜日の営業を定休日に変更。土曜日の営業時間を30分短縮 (R6年9月) バスターミナル忘れ物コーナー 水曜日定休を設ける ③乗務員交番作成をAIを使用し自動化する取り組みを継続し、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。 また、本社、営業所間、営業所内の様々な情報の共有をLINEWORKSを活用し実施することで、情報共有の効率的な運用を実現した。</p>

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
遠州鉄道株式会社	磐田天竜	山東	ららぽーと磐田	磐田駅
系統キロ程	関係市町			
24.7 km	浜松市	磐田市		

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績	
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—	
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	14.2 回/日	10	14.3 回/日	
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	59.6 人/日	30	61.4 人/日	
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—	
収支率 (20)	収入を確保できているか	44.1 %	15	47.4 %	
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績	199,848 人	3	209,236 人
		計画	221,600 人		215,429 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—	
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点	2 箇所	8	2 箇所
		乗継バス停	4 箇所		4 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移 動はされているか	32.8 %	8	34.6 %	

補助基準	40 /40
実施状況	18 /40
幹線性・広域性	16 /20
合計	74 /100

評価指標
B

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
 B : 幹線として適した運行となっている
 C : 改善に努力を要する
 D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	旧天竜市中心部から大型商業施設を經由し磐田市中心部を結ぶ路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学及び日中の移動の手段として、欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 二俣駅・磐田駅
	(乗継ぎバス停) 山東・秋野不矩美術館入口・西坂町・加茂川
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 天竜高校・磐田農業高校・磐田南高・磐田西小・磐田市役所・中遠総合庁舎・磐田市立中央図書館・天竜区役所・ららぽーと磐田・JR磐田駅・遠鉄西鹿島駅・天浜豊岡駅・天浜二俣駅

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①定期券ネット販売の認知度及びサービスの向上を図る。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売するなど、MaaSアプリによるサービスの向上を図る。 ③運賃箱から取得されるバスの運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成する。</p> <p>【実績】</p> <p>①定期券の新規定期券においては高校へ進学する学生をターゲットとした周知活動を展開。継続定期券についてはキャンペーンを展開し認知向上に努めた。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、継続してデジタルフリー乗車券を販売。 ③旅客動向の分析を行い、令和5年10月と令和6年3月にダイヤ改正を実施。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①デジタルタログラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③点呼業務のデジタル化やAIで交番が自動作成できる仕組みを活用し、運行管理業務を省力化することで固定費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタログラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R6年6月) 磐田駅前店 月曜日の営業を定休日に変更。土曜日の営業時間を30分短縮 (R6年9月) バスターミナル忘れ物コーナー 水曜日定休を設ける ③乗務員交番作成をAIを使用し自動化する取り組みを継続し、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。 また、本社、営業所間、営業所内の様々な情報の共有をLINEWORKSを活用し実施することで、情報共有の効率的な運用を実現した。</p>

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
遠州鉄道株式会社	掛塚さなる台	浜松駅	掛塚	豊浜郵便局
系統キロ程	関係市町			
17.3 km	浜松市	磐田市		

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績	
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—	
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	4.1 回/日	10	4.1 回/日	
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	20.5 人/日	30	19.6 人/日	
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—	
収支率 (20)	収入を確保できているか	57.1 %	20	57.2 %	
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績	64,050 人	20	55,840 人
		計画	59,787 人		47,152 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—	
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点	1 箇所	9	1 箇所
		乗継バス停	7 箇所		7 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移 動はされているか	35.9 %	8	34.7 %	

補助基準	40 /40
実施状況	40 /40
幹線性・広域性	17 /20
合計	97 /100

評価指標
A

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
 B : 幹線として適した運行となっている
 C : 改善に努力を要する
 D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	旧福田町から旧竜洋町を經由し、浜松駅へと至る路線。沿線には1つの高校が存在。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学的手段として欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 浜松駅バスターミナル
	(乗継ぎバス停) 東部協働センター・名塚西・芳川西・芳川・新道・前嶋・福田車庫
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 浜松修学舎・竜洋西小学校・磐田市福田支所・JR浜松駅

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①定期券ネット販売の認知度及びサービスの向上を図る。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売するなど、MaaSアプリによるサービスの向上を図る。 ③運賃箱から取得されるバスの運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成する。</p> <p>【実績】</p> <p>①定期券の新規定期券においては高校へ進学する学生をターゲットとした周知活動を展開。継続定期券についてはキャンペーンを展開し認知向上に努めた。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、継続してデジタルフリー乗車券を販売。 ③旅客動向の分析を行い、令和5年10月と令和6年3月にダイヤ改正を実施。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①デジタルタログラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③点呼業務のデジタル化やAIで交番が自動作成できる仕組みを活用し、運行管理業務を省力化することで固定費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタログラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R6年6月) 磐田駅前店 月曜日の営業を定休日に変更。土曜日の営業時間を30分短縮 (R6年9月) バスターミナル忘れ物コーナー 水曜日定休を設ける ③乗務員交番作成をAIを使用し自動化する取り組みを継続し、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。 また、本社、営業所間、営業所内の様々な情報の共有をLINEWORKSを活用し実施することで、情報共有の効率的な運用を実現した。</p>

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
遠州鉄道株式会社	磐田市立病院福田	磐田駅南口	福田車庫	豊浜郵便局
系統キロ程	関係市町			
9.4 km	磐田市			

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績	
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—	
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	6.7 回/日	10	6.8 回/日	
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	19.4 人/日	5	21.7 人/日	
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—	
収支率 (20)	収入を確保できているか	41.8 %	15	47.3 %	
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績	43,883 人	3	46,892 人
		計画	46,718 人		44,110 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—	
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点	1 箇所	5	1 箇所
		乗継バス停	3 箇所		3 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移 動はされているか	53.6 %	10	61.8 %	

補助基準	15 /40
実施状況	18 /40
幹線性・広域性	15 /20
合計	48 /100

評価指標
D

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
 B : 幹線として適した運行となっている
 C : 改善に努力を要する
 D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	J R 磐田駅と旧福田町を結ぶ路線。J R から比較的離れた地域から最寄りの J R 駅への接続をしており、代替の交通機関もないため、地域住民にとって必須の路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 磐田駅南口
	(乗継ぎバス停) 新道・前嶋・福田車庫
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 静岡産業大学・新都市病院・磐田市福田支所・JR磐田駅

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①定期券ネット販売の認知度及びサービスの向上を図る。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売するなど、MaaSアプリによるサービスの向上を図る。 ③運賃箱から取得されるバスの運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成する。</p> <p>【実績】</p> <p>①定期券の新規定期券においては高校へ進学する学生をターゲットとした周知活動を展開。継続定期券についてはキャンペーンを展開し認知向上に努めた。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、継続してデジタルフリー乗車券を販売。 ③旅客動向の分析を行い、令和5年10月と令和6年3月にダイヤ改正を実施。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①デジタルタログラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③点呼業務のデジタル化やAIで交番が自動作成できる仕組みを活用し、運行管理業務を省力化することで固定費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタログラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R6年6月) 磐田駅前店 月曜日の営業を定休日に変更。土曜日の営業時間を30分短縮 (R6年9月) バスターミナル忘れ物コーナー 水曜日定休を設ける ③乗務員交番作成をAIを使用し自動化する取り組みを継続し、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。 また、本社、営業所間、営業所内の様々な情報の共有をLINEWORKSを活用し実施することで、情報共有の効率的な運用を実現した。</p>

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
遠州鉄道株式会社	掛塚さなる台	浜松駅	芳川	掛塚
系統キロ程	関係市町			
6.9 km	浜松市	磐田市		

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績	
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—	
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	24.6 回/日	10	24.6 回/日	
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	130.3 人/日	30	137.7 人/日	
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—	
収支率 (20)	収入を確保できているか	83.0 %	20	89.6 %	
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績	235,344 人	20	237,151 人
		計画	196,782 人		183,157 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—	
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点	2 箇所	8	2 箇所
		乗継バス停	4 箇所		4 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移 動はされているか	26.3 %	5	24.6 %	

補助基準	40 /40
実施状況	40 /40
幹線性・広域性	13 /20
合計	93 /100

評価指標
A

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
 B : 幹線として適した運行となっている
 C : 改善に努力を要する
 D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	浜松市中心部から掛塚街道沿いを東進し、旧竜洋町の掛塚までを結ぶ広域幹線。沿線には公共施設、学校があり、地域住民にとって欠かせない路線となっている。路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 浜松駅バスターミナル、掛塚（磐田市自主運行バス）
	(乗継ぎバス停) アクトシティ、東部協働センター、芳川西、芳川
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) JR浜松駅、アクトシティ、東部協働センター、浜松修学舎高校、芳川小学校

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①定期券ネット販売の認知度及びサービスの向上を図る。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売するなど、MaaSアプリによるサービスの向上を図る。 ③運賃箱から取得されるバスの運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成する。</p> <p>【実績】</p> <p>①定期券の新規定期券においては高校へ進学する学生をターゲットとした周知活動を展開。継続定期券についてはキャンペーンを展開し認知向上に努めた。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、継続してデジタルフリー乗車券を販売。 ③旅客動向の分析を行い、令和5年10月と令和6年3月にダイヤ改正を実施。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①デジタルタログラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③点呼業務のデジタル化やAIで交番が自動作成できる仕組みを活用し、運行管理業務を省力化することで固定費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタログラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 （R6年6月）磐田駅前店 月曜日の営業を定休日に変更。土曜日の営業時間を30分短縮 （R6年9月）バスターミナル忘れ物コーナー 水曜日定休を設ける ③乗務員交番作成をAIを使用し自動化する取り組みを継続し、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。 また、本社、営業所間、営業所内の様々な情報の共有をLINEWORKSを活用し実施することで、情報共有の効率的な運用を実現した。</p>

地域間幹線システムに対する市町取組方針報告書

市町名		磐田市
対象系統		
評価指標	A	磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)、磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)、掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)、掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)
	B	中ノ町磐田線、磐田天竜線(ららぽーと経由)
	C	
	D	磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)
市町の取組		
<p>1 地域間幹線システムの路線運行を維持するバス事業者に対し、補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象(区間) 地域間幹線システム路線のうち、市内を運行する全区間 ・補助率 経常欠損額から国県補助金及び競合カット額を除いた額 ・補助額 55,025千円 <p>2 市ホームページから運行事業者ホームページへのリンク設定やバス路線図の配置により住民へ周知を図った。</p> <p>3 エコ通勤の日を設定し、職員に対してバスをはじめとした公共交通機関の利用を促進した。</p> <p>4 市自主運行バス路線の行き先に地域間幹線システムのバス停を設定し、接続した。</p>		
今後の方針(市町の意向等)		
評価指標	AまたはB	継続して補助金を交付しつつ、バス路線の重要性に関する市民の意識醸成を図るため周知する。
	CまたはD	継続して補助金を交付しつつ、バス路線の重要性に関する市民の意識醸成を図るため周知する。

(記載要領)

- 1 「市町の取組」は、評価期間に実施した利用促進策等の取組を記載してください。
- 2 「今後の方針(市町の意向等)」は、当該システムをどのように維持していくか、簡潔に記載してください。なお、輸送量が20人/日未満(特に評価指標がCまたはDの系統)については、国及び県の補助要件(輸送量15人/日等)を満たさなくなり、今後補助を受けられなくなるおそれがあるため、より具体的な取組や市町の意向を記載してください。

デマンド型乗合タクシーの自己評価について

令和6年度（令和5年10月から令和6年9月）地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー）に関する磐田市デマンド型乗合タクシー（福田線・磐田中央線）の自己評価を別添のとおり定めるものとする。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月17日

協議会名: 磐田市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改善補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
①デマンド型乗合タクシー(福田線)	福田地区、磐田駅周辺地区及び磐田市立総合病院等の運行	デマンド型乗合タクシーの利用促進を図ることを目標として、前年比1.1の伸び率を目標値とした。 運転免許証自主返納者等の高齢者に対し、警察署や地域包括支援センターと連携・協力して周知し、高齢者の移動手段として定着し、利用者が増加したことにより目標値を達成することができた。	A 計画のとおり事業は適切に実施された。 〈実施事業〉 ・高齢者サロン等での説明 ・広報紙及び市ホームページへの掲載	A ①デマンド型乗合タクシー(福田線) 〈目標値〉 1日あたりの利用者数 10.4人 交通結節点利用者数 319人 〈実績値〉 1日あたりの利用者数 16.2人 交通結節点利用者数 390人 ②デマンド型乗合タクシー(磐田中央線) 〈目標値〉 1日あたりの利用者数 41.5人 交通結節点利用者数 612人 〈実績値〉 1日あたりの利用者数 58.0人 交通結節点利用者数 908人	地域、警察署、福祉関係機関等と連携・協力して制度の周知拡大に努め利用促進を図る。 運行を持続可能なものにするため、目的地の追加などの利便性向上による改善とあわせて、運賃制度の見直しを検討する。
②デマンド型乗合タクシー(磐田中央線)	磐田中央地区及び磐田市立総合病院等の運行		A	A	

2025/01/17

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月17日

協議会名:	磐田市地域公共交通会議
-------	-------------

評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
----------	----------------------

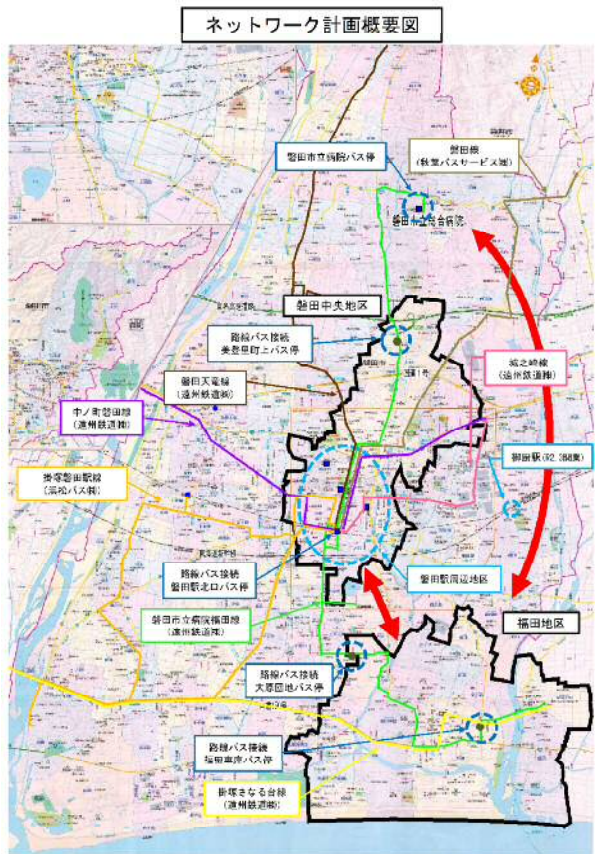
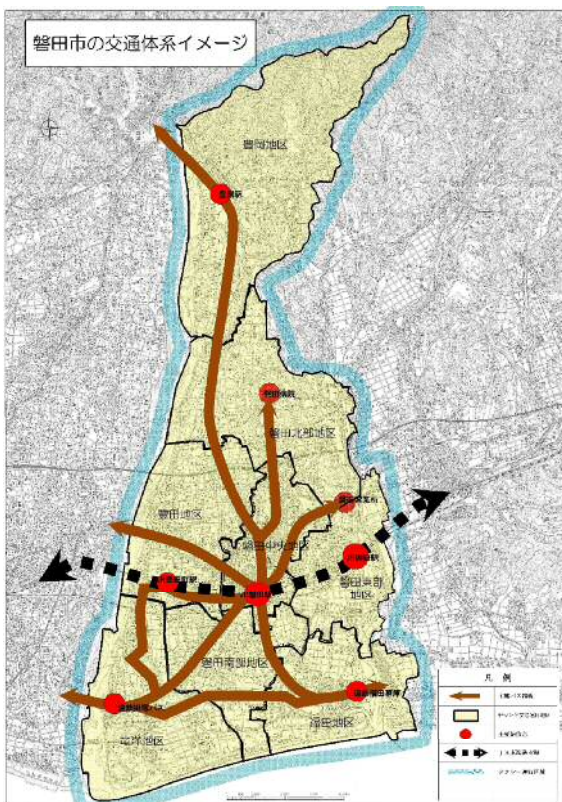
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本市の公共交通は、6つの鉄道駅と磐田駅から放射線状に伸びる路線バス網、市内全域で運行しているデマンド型乗合タクシー及び一般タクシーで構成されている。また、デマンド型乗合タクシーは、鉄道及び路線バスに接続するフィーダー路線としての役割を果たすことにより、地域内はもとより地域間を結ぶ公共交通ネットワークが形成されている。</p> <p>今後、さらに高齢化が進展する中で、誰もが地域で安心して暮らし続けることができるよう、行政、交通事業者、地域住民、関係機関が役割を分担し、相互に連携・協力しながら地域公共交通の確保・充実に取り組むことが必要である。</p>
-----------------------------	--

デマンド型乗合タクシーの自己評価について

地域内フィーダー系統(福田線, 磐田中央線)

地域内フィーダー系統とは

地域内フィーダー系統とは、地域間幹線系統に対して、そのバス停などから、地域の細部に広がる区域運行や、支線です。



評価について

評価する目的

事業の実施状況について協議会が自ら評価を行うものであり、単に事業を完了させたかどうかだけでなく、事業の目的との関係を踏まえて、事業の実施状況の確認・改善点の検討を行う。

スケジュール

年	R5												R6												R7
月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1				
	公共交通会議	計画認定申請提出																				事業評価			

目標

市や交通事業者による利用促進策の実施や、誰もが使いやすい環境の整備により、持続性のある交通サービスとして確保・維持することを目標としている。

目標値

指 標	福田線	磐田中央線
1日あたり利用者数	10.4人	41.5人
交通結節点利用者	319人	612人

1 啓発活動

- ・高齢者サロンでの制度周知
- ・磐田警察署の免許窓口での制度紹介
- ・地域と協力した制度周知と登録促進
- ・市ホームページや市広報紙への掲載
- ・作成した制度説明動画を市ホームページへの掲載
- ・高齢者に関係する機関と協力した制度周知と登録促進



2 運行内容の見直し・利用促進方策等の検討

- ・磐田市地域公共交通計画の策定に伴う基礎調査から利用実態を把握し、今後事業を維持していくために磐田市地域公共交通会議に検討部会を組織し、「利用者負担額と公費負担額の見直し」や「目的地の追加による利便性向上」等を検討する。

実績

『お助け号』利用状況（運行期間：令和5年10月～令和6年9月）

※上段網掛けは前年値

地区名	利用者数 (人/日)	交通結節点利用者数 (人)		乗合率 (人/車両台数)	全体利用者数 (人)
豊田地区	28.0	511	・磐田駅 ・豊田町駅	1.6	8,191
	31.6	536		1.7	9,247
磐田北部地区	5.7	291	・磐田駅 ・御厨駅 ・磐田営業所バス停	1.3	1,616
	6.7	428		1.4	1,955
磐田東部地区	23.8	1,636	・磐田駅 ・御厨駅 ・磐田営業所バス停 ・西貝塚北バス停	1.4	6,980
	26.0	1,421		1.5	7,631
磐田南部地区	17.4	424	・磐田駅 ・豊田町駅 ・小島バス停	1.4	5,096
	18.2	582		1.5	5,332
磐田中央地区	47.1	699	・磐田駅 ・美登里町上バス停	1.7	13,800
	58.0	908		1.9	16,993
竜洋地区	20.9	1,181	・磐田駅 ・豊田町駅 ・掛塚バス停	1.4	6,132
	22.3	1,212		1.5	6,535
福田地区	13.1	312	・磐田駅 ・御厨駅 ・福田車庫バス停 ・大原団地バス停	1.5	3,826
	16.2	390		1.6	4,741
豊岡地区	7.4	80	・磐田駅 ・豊田町駅 ・新開バス停 ・飛龍大橋東バス停	1.4	2,082
	7.7	148	・豊岡駅 ・上野部駅 ・敷地駅	1.5	2,234
合計	163.4	5,134		1.5	47,723
	186.7	5,625		1.6	54,668

単独継続困難申出路線及び市自主運行申出路線について

令和 6 年 9 月 30 日までに静岡県生活交通確保対策協議会に申し出のあった下記の単独継続困難路線（系統）及び本市自主運行路線（系統）については、地域住民の日常生活に必要な移動手段であることから、当該路線（系統）を生活交通として維持する必要があると判断する。

記

- 1 単独継続困難申出路線（事業者地域間幹線系統及び事業者フィーダー）
4 路線 7 系統

- 2 単独継続困難申出路線（事業者市町単独補助系統）
4 路線 10 系統

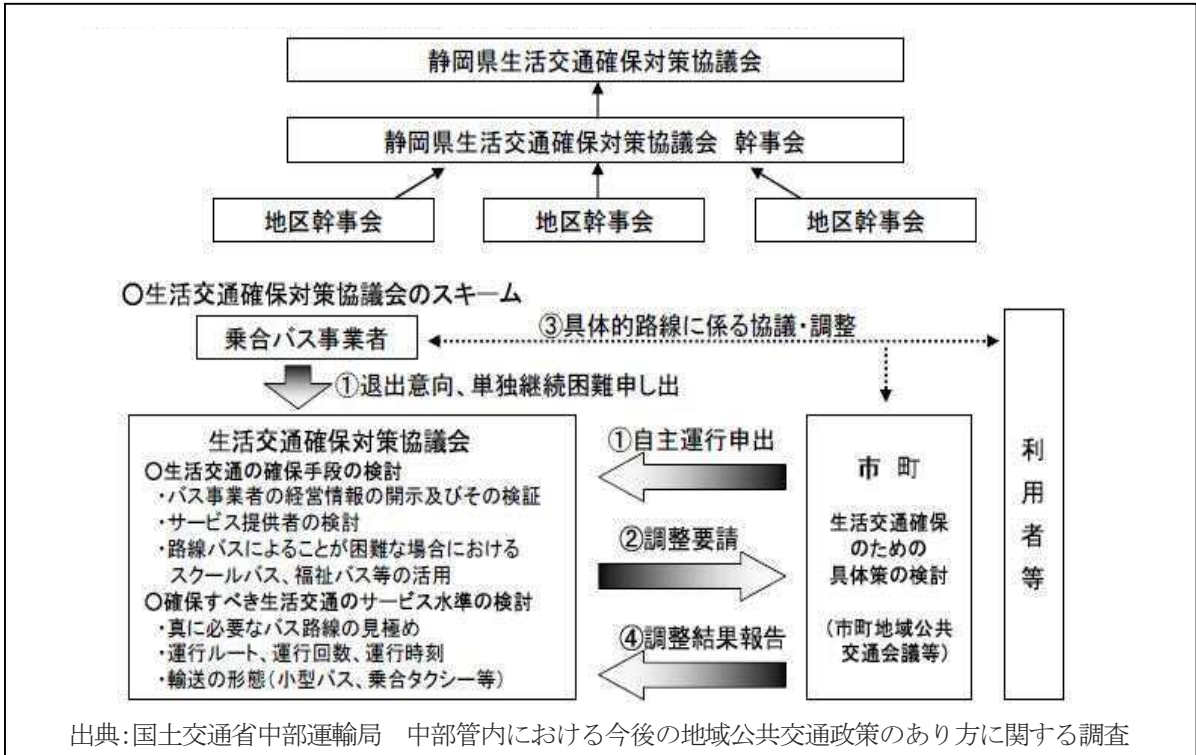
- 3 市自主運行申出路線
10 路線 13 系統

単独継続困難申出路線及び市自主運行申出路線について

1 要 旨

事業者単独での旅客自動車運送事業の継続が困難である旨の申出をした路線及び市が運行する旨の申出をした路線について、対応方策等を検討・調整するためご意見を伺うものです。

【静岡県における県協議会と市町協議会との調整要請の仕組み】



【補助制度】

令和7年度に交付される補助金と対象期間は次のとおりです。

- ・地域間幹線系統確保維持費国庫補助金 (国・県) 令和6年10月～令和7年9月運行分
- ・地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 (国) 令和6年10月～令和7年9月運行分
- ・市町自主運行バス事業費補助金 (県) 令和6年4月～令和7年3月運行分
- ・磐田市生活バス路線維持費補助金国庫補助路線 (市) 令和6年10月～令和7年9月運行分
- ・磐田市生活バス路線維持費補助金市補助路線 (市) 令和6年10月～令和7年9月運行分
- ・磐田市広域生活バス路線磐田線運行事業費補助金 (市) 令和7年4月～令和8年3月運行分

2 対象路線

[単独継続困難申出路線（事業者地域間幹線系統及び事業者フィーダー）]

	運行事業者	路線名	路線概要
1	遠州鉄道(株)	磐田市立病院福田線	<ul style="list-style-type: none"> ・磐田市立総合病院から磐田駅を經由し、福田地区を結ぶ路線 ・磐田市立病院への通院、沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線
2		中ノ町磐田線	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松駅から磐田駅を經由し、遠鉄磐田営業所を結ぶ路線 ・主要な幹線である県道を主なルートとしており、沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線
3		磐田天竜線	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市山東から磐田市北端部を經由し、磐田駅を結ぶ路線 ・磐田市街地への通勤通学、沿線住民の生活に必要な路線
4		掛塚さなる台線	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松駅から掛塚を經由し、福田地区を結ぶ路線 ・沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線

[単独継続困難申出路線（事業者市町単独補助系統）]

	運行事業者	路線名	路線概要
1	遠州鉄道(株)	城之崎線	<ul style="list-style-type: none"> ・磐田駅から磐田東部地区を經由し、遠鉄磐田営業所を結ぶ路線 ・沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線
2		中ノ町磐田線	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松駅や磐田駅から磐田中央地区を經由し、遠鉄磐田営業所を結ぶ路線 ・主要な幹線である県道を主なルートとしており、沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線
3		磐田天竜線	<ul style="list-style-type: none"> ・磐田駅から磐田中央地区を經由し、ららぽーと磐田を結ぶ路線 ・磐田市街地への通勤通学、沿線住民の生活に必要な路線
4		磐田市立病院福田線	<ul style="list-style-type: none"> ・磐田駅から磐田中央地区を經由し、磐田市立総合病院を結ぶ路線 ・沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線

[市自主運行申出路線]

	運行主体（事業者）	路線名	路線概要
1	磐田市 (秋葉バスサービス(株))	磐田線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3市町（磐田市、袋井市、森町）の共同により運行 ・ 沿線の高校生の通学の足として磐田駅までをつなぐ必要な路線
2	磐田市 (遠鉄タクシー(株))	デマンド型乗合タクシー (竜洋線)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竜洋地区～豊田町駅・磐田駅周辺～磐田市立総合病院 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
3		デマンド型乗合タクシー (福田線)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福田地区～磐田駅周辺～磐田市立総合病院 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
4		デマンド型乗合タクシー (豊岡線)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊岡地区～磐田市立総合病院～豊田町駅・磐田駅周辺 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
5		デマンド型乗合タクシー (磐田北部線)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 磐田北部地区～地区外商業施設～磐田駅周辺 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
6		デマンド型乗合タクシー (磐田東部線)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 磐田東部地区～磐田市立総合病院・磐田駅周辺 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
7		デマンド型乗合タクシー (磐田南部線)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 磐田南部地区～豊田町駅・磐田駅周辺～磐田市立総合病院 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
8		デマンド型乗合タクシー (豊田線)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊田地区～磐田駅周辺～磐田市立総合病院 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
9		デマンド型乗合タクシー (磐田中央線)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 磐田中央地区～磐田市立総合病院 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
10		磐田市 (浜松バス(株))	掛塚磐田駅線

(1) 単独継続困難申出路線（事業者地域間幹線系統及び事業者フィーダー）

番号	系統名 (路線名)	起 点 経過地 終 点	年度	運行の状況			収支の状況		
				実車走行 キロ (km)	運行 日数	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)
1	磐田市立 病院福田	磐田市立病院 磐田駅 豊浜郵便局	R5年度	83,725.6	365	96,148	35,528,121	20,270,879	15,257,242
			R6年度	85,741.6	365	98,463	34,750,213	20,758,975	13,991,239
			R7年度	85,479.1	365	98,162	35,054,124	20,695,420	14,358,704
2	磐田市立 病院福田	磐田駅南口 福田車庫 豊浜郵便局	R5年度	47,357.1	365	46,892	20,095,511	9,503,263	10,592,248
			R6年度	48,800.0	365	48,321	19,778,152	9,792,813	9,985,339
			R7年度	48,641.8	365	48,164	19,947,516	9,761,067	10,186,449
3	中ノ町磐田	浜松駅 中ノ町 磐田営業所	R5年度	176,697.5	365	290,160	74,979,817	50,821,968	24,157,879
			R6年度	172,935.0	365	283,981	70,088,826	49,739,793	20,439,033
			R7年度	177,176.7	365	290,947	72,658,393	50,959,796	21,698,597
4	磐田天竜	山東 新開 磐田駅	R5年度	79,276.2	365	72,244	33,640,062	21,441,608	12,198,454
			R6年度	79,688.5	365	72,620	32,296,952	21,553,122	10,743,831
			R7年度	79,426.8	365	72,381	32,572,136	21,482,340	11,089,796
5	磐田天竜	山東 ららぽーと磐田 磐田駅	R5年度	257,744.5	365	209,236	109,371,301	51,816,359	57,554,942
			R6年度	259,152.4	365	210,379	105,031,876	52,099,400	52,932,476
			R7年度	258,312.6	365	209,697	105,931,414	51,930,569	54,000,846
6	掛塚さなる台	浜松駅 掛塚 豊浜郵便局	R5年度	52,470.9	365	55,840	22,265,501	12,738,974	9,526,527
			R6年度	52,765.0	365	56,153	21,385,127	12,810,376	8,574,751
			R7年度	52,592.0	365	55,969	21,567,453	12,768,375	8,799,078
7	掛塚さなる台	浜松駅 芳川 掛塚	R5年度	124,179.3	365	237,151	52,694,244	47,232,812	5,461,432
			R6年度	124,586.4	365	237,928	50,493,622	47,387,656	3,105,966
			R7年度	124,248.3	365	237,283	50,952,985	47,259,057	3,693,929
合計			R5年度	821,451.1	365	1,007,671	348,574,557	213,825,863	134,748,724
			R6年度	823,668.9	365	1,007,845	333,824,768	214,142,135	119,772,635
			R7年度	825,877.3	365	1,012,603	338,684,021	214,856,624	123,827,399

【備考】

- ①R5年度（R04.10.01～R05.09.30）は実績値、R6年度（R05.10.01～R06.09.30）とR7年度（R06.10.01～R07.09.30）は見込値を記載しています。
 ②令和4年度までは、系統ごとに経常欠損額から国県補助額を差し引いた残りの欠損額の1/2を磐田市が補助しました。
 ③令和5年度からは、系統ごとに経常欠損額から国県補助額を差し引いた残りの欠損額を磐田市が補助します。

(2) 単独継続困難申出路線（事業者市町単独補助系統）

番号	系統名 (路線名)	起 点 経過地 終 点	年度	運行の状況			収支の状況		
				実車走行 キロ (km)	運行 日数	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)
1	城之崎	磐田駅 城之崎 磐田営業所	R4年度	18,960.0	365	22,062	7,787,820	2,400,672	5,387,148
			R5年度	12,254.4	365	14,925	5,503,941	1,807,366	3,696,575
			R6年度	12,254.4	366	14,925	7,787,820	1,807,366	5,980,454
2	城之崎	磐田駅 城之崎・磐田営業所 スズキ	R4年度	3,155.2	365	7,114	1,295,998	1,201,312	94,686
			R5年度	2,795.6	241	6,542	1,255,616	1,117,271	138,345
			R6年度	2,795.6	241	6,542	1,255,616	1,117,271	138,345
3	城之崎	磐田駅 東高校・城之崎 磐田営業所	R4年度	2,799.5	125	980	944,520	139,718	804,802
			R5年度	787.5	125	533	353,698	80,085	273,613
			R6年度	787.5	125	533	353,698	80,085	273,613
4	中ノ町磐田	磐田駅 加茂川 磐田営業所	R4年度	23,155.5	365	38,020	9,511,122	4,452,127	5,058,995
			R5年度	15,621.9	366	32,057	7,016,420	4,260,069	2,756,351
			R6年度	15,621.9	365	32,057	7,016,420	4,260,069	2,756,351
5	中ノ町磐田	磐田営業所 東高校 浜松駅	R4年度	4,675.4	241	10,246	1,920,421	1,914,942	5,479
			R5年度	4,675.4	241	4,675	2,099,909	2,506,450	-
			R6年度	4,675.4	241	4,675	2,099,909	2,506,450	-
6	磐田天竜	磐田駅 加茂川 ららぽーと磐田	R4年度	33,575.4	365	55,829	17,791,096	13,749,316	4,041,780
			R5年度	39,916.5	366	69,946	21,928,097	16,664,595	5,263,502
			R6年度	39,916.5	365	69,946	21,253,242	16,664,595	4,588,647
7	磐田市立 病院福田	磐田駅 本通 磐田市立病院	R4年度	45,273.2	365	50,613	18,595,967	9,286,637	9,309,330
			R5年度	43,690.8	366	47,461	19,623,286	7,929,345	11,693,941
			R6年度	43,690.8	365	47,461	19,623,286	7,929,345	11,693,941
8	磐田市立 病院福田	磐田駅 北高校前 磐田市立病院	R4年度	5,999.4	365	16,169	2,464,254	1,815,000	649,254
			R5年度	6,009.3	366	17,268	2,699,017	3,331,135	-
			R6年度	6,009.3	365	17,268	2,699,017	3,331,135	-
9	磐田市立 病院福田	磐田駅 加茂川 北高校前	R4年度	1,183.2	204	9,211	485,999	893,566	-
			R5年度	1,183.2	206	14,051	531,422	1,478,314	-
			R6年度	1,183.2	204	14,051	531,422	1,478,314	-
10	磐田市立 病院福田	北見町 美登里町 磐田北小	R4年度	754.8	204	8,437	310,034	943,016	-
			R5年度	754.8	206	7,563	339,011	851,476	-
			R6年度	754.8	204	7,563	339,011	851,476	-
合計			R4年度	139,531.6	296	218,681	61,107,231	36,796,306	25,351,474
			R5年度	127,689.4	285	215,021	61,350,417	40,026,106	23,822,327
			R6年度	127,689.4	284	215,021	62,959,441	40,026,106	25,431,351

【備考】

- ①R4年度（R04.04.01～R05.03.31）とR5年度（R05.04.01～R06.03.31）は実績値、R6年度（R06.04.01～R07.03.31）は見込値を記載しています。
 ②令和5年度からは、系統ごとに経常欠損額を磐田市が補助します。

(3) 市自主運行申出路線 (秋葉バスサービス株式会社)

番号	系統名 (路線名)	起 点		年度	運行の状況			収支の状況		
		経過地	終 点		実車走行 キロ (km)	運行 日数	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)
1	磐田線 (森山入口)	磐田駅	磐田駅	R4年度	31,638.6	243	22,692	10,006,023	5,773,192	4,232,831
		森山入口	森山入口	R5年度	31,508.4	242	19,118	11,561,692	4,579,235	6,982,457
		遠州森町	遠州森町	R6年度	31,248.0	240	19,118	15,015,913	4,893,359	10,122,554
2	磐田線 (森町病院)	磐田駅	磐田駅	R4年度	21,386.3	243	14,283	6,763,631	3,642,605	3,121,026
		森町病院	森町病院	R5年度	21,299.0	242	11,616	7,815,455	4,442,232	3,373,223
		遠州森町	遠州森町	R6年度	21,120.0	240	11,616	10,149,004	4,754,598	5,394,406
合計				R4年度	53,024.9	243	36,975	16,769,654	9,415,797	7,353,857
				R5年度	52,807.4	242	30,734	19,377,147	9,021,467	10,355,680
				R6年度	52,368.0	240	30,734	25,164,917	9,647,957	15,516,960

【備考】
 ①R4年度 (R04.04.01~R05.03.31) とR5年度 (R05.04.01~R06.03.31) は実績値、R6年度 (R06.04.01~R07.03.31) は見込値を記載しています。
 ②関係市町 (袋井市、森町) との合算した数値を記載しています。
 ③経常欠損額または経常費用の9/20のいずれか少ない額の1/2の県費補助を受けています。

(3) 市自主運行申出路線 (遠鉄タクシー株式会社)

番号	系統名 (路線名)	起 点		年度	運行の状況			収支の状況		
		経過地	終 点		実車走行 キロ (km)	運行 日数	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)
1	デマンド型 乗合タクシー (竜洋)	竜洋地区	竜洋地区	R4年度	33,311.0	293	5,841	12,224,240	2,456,200	9,768,040
		豊田町駅・磐田駅	豊田町駅・磐田駅	R5年度	34,767.0	293	6,280	12,754,230	2,440,700	10,313,530
		磐田市立総合病院	磐田市立総合病院	R6年度	38,925.0	300	6,314	12,857,856	2,481,120	10,376,736
2	デマンド型 乗合タクシー (福田)	福田地区	福田地区	R4年度	17,048.0	290	3,301	6,939,220	1,354,900	5,584,320
		磐田駅周辺	磐田駅周辺	R5年度	19,966.0	293	4,116	7,863,560	1,631,500	6,232,060
		磐田市立総合病院	磐田市立総合病院	R6年度	28,098.0	300	4,042	7,881,240	1,627,440	6,253,800
3	デマンド型 乗合タクシー (豊岡)	豊岡地区	豊岡地区	R4年度	6,877.0	275	1,699	3,690,540	547,300	3,143,240
		豊田町駅・磐田駅	豊田町駅・磐田駅	R5年度	9,330.0	292	2,178	4,539,260	728,300	3,810,960
		なぎの木会館	なぎの木会館	R6年度	14,444.0	295	2,333	4,775,808	741,360	4,034,448
4	デマンド型 乗合タクシー (磐田北部)	磐田北部地区	磐田北部地区	R4年度	8,252.0	276	1,399	3,468,870	614,900	2,853,970
		磐田駅周辺	磐田駅周辺	R5年度	11,592.0	291	1,885	4,894,120	853,000	4,041,120
		なぎの木会館	なぎの木会館	R6年度	20,709.0	295	1,858	4,748,496	839,760	3,908,736
5	デマンド型 乗合タクシー (磐田東部)	磐田東部地区	磐田東部地区	R4年度	25,987.0	293	6,688	12,269,350	2,279,700	9,989,650
		磐田駅周辺	磐田駅周辺	R5年度	27,996.0	293	7,339	13,625,260	2,586,900	11,038,360
		なぎの木会館	なぎの木会館	R6年度	31,055.0	300	7,169	13,446,912	2,514,240	10,932,672
6	デマンド型 乗合タクシー (磐田南部)	磐田南部地区	磐田南部地区	R4年度	21,541.0	293	4,885	9,541,030	1,956,900	7,584,130
		豊田町駅・磐田駅	豊田町駅・磐田駅	R5年度	22,203.0	293	5,130	9,799,300	2,003,100	7,796,200
		磐田市立総合病院	磐田市立総合病院	R6年度	23,494.0	300	4,934	9,266,952	1,885,920	7,381,032
7	デマンド型 乗合タクシー (豊田)	豊田地区	豊田地区	R4年度	28,975.0	293	7,762	12,394,300	2,716,400	9,677,900
		磐田駅周辺	磐田駅周辺	R5年度	32,996.0	293	8,622	12,488,690	2,929,400	9,559,290
		磐田市立総合病院	磐田市立総合病院	R6年度	39,604.0	300	8,239	12,044,232	2,824,560	9,219,672
8	デマンド型 乗合タクシー (磐田中央)	磐田中央地区	磐田中央地区	R4年度	34,274.0	293	12,438	17,871,080	3,749,200	14,121,880
		磐田駅周辺	磐田駅周辺	R5年度	43,184.0	293	15,157	19,634,120	4,587,900	15,046,220
		磐田市立総合病院	磐田市立総合病院	R6年度	58,484.0	300	14,563	19,386,312	4,476,000	14,910,312
合計				R4年度	176,265.0	288	44,013	78,398,630	15,675,500	62,723,130
				R5年度	202,034.0	293	50,707	85,598,540	17,760,800	67,837,740
				R6年度	254,813.0	299	49,452	84,407,808	17,390,400	67,017,408

【備考】
 ①R4年度 (R04.04.01~R05.03.31) とR5年度 (R05.04.01~R06.03.31) は実績値、R6年度 (R06.04.01~R07.03.31) は見込値を記載しています。
 ②番号2・8の福田線・磐田中央線の2路線は、経常欠損額1/2の国庫補助を受けています。
 ③その他の路線は、経常欠損額または経常費用の9/20のいずれか少ない額の1/2の県費補助を受けています。

(3) 市自主運行申出路線 (浜松バス株式会社)

番号	系統名 (路線名)	起 点		年度	運行の状況			収支の状況		
		経過地	終 点		実車走行 キロ (km)	運行 日数	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)
1	掛塚磐田駅線 (とつか)	掛塚蟹町	掛塚蟹町	R4年度	37,797.0	293	11,419	15,725,398	2,414,964	13,310,434
		とつか・豊田町駅	とつか・豊田町駅	R5年度	38,055.0	295	11,490	15,750,294	2,219,448	13,530,846
		磐田駅	磐田駅	R6年度	37,797.0	293	10,500	14,705,452	2,800,000	11,905,452
2	掛塚磐田駅線 (千手堂)	掛塚蟹町	掛塚蟹町	R4年度	24,524.1	293	8,403	10,203,224	1,777,121	8,426,103
		千手堂	千手堂	R5年度	24,691.5	295	8,771	10,219,377	1,692,710	8,526,667
		磐田駅	磐田駅	R6年度	24,505.5	293	8,500	9,859,338	1,850,000	8,009,338
3	掛塚磐田駅線 (北高)	掛塚蟹町	掛塚蟹町	R4年度	3,545.3	293	4,830	1,475,018	1,021,480	453,538
		千手堂・磐田駅	千手堂・磐田駅	R5年度	3,569.5	295	5,002	1,477,353	965,333	512,020
		磐田北高	磐田北高	R6年度	3,536.0	293	5,000	8,856,694	1,650,000	7,206,694
合計				R4年度	65,866.4	293	24,652	27,403,640	5,213,565	22,190,075
				R5年度	66,316.0	295	25,263	27,447,024	4,877,491	22,569,533
				R6年度	65,838.5	293	24,000	33,421,484	6,300,000	27,121,484

【備考】
 ①R4年度 (R04.04.01~R05.03.31) は実績値、R5年度 (R05.04.01~R06.03.31) は実績値、R6年度 (R06.04.01~R07.03.31) は見込値を記載しています。
 ②経常欠損額または経常費用の9/20のいずれか少ない額の1/2の県費補助を受けています。

(1) 単独継続困難申出路線 (事業者地域間幹線系統及び事業者フィーダー)

遠鉄バス 電車 路線図

バス運行頻度の説明

太線 概ね平日1時間につき3〜5回運行
 中線 概ね平日1時間につき1〜2回運行
 凡例 平日のみ または 1日1〜2回運行

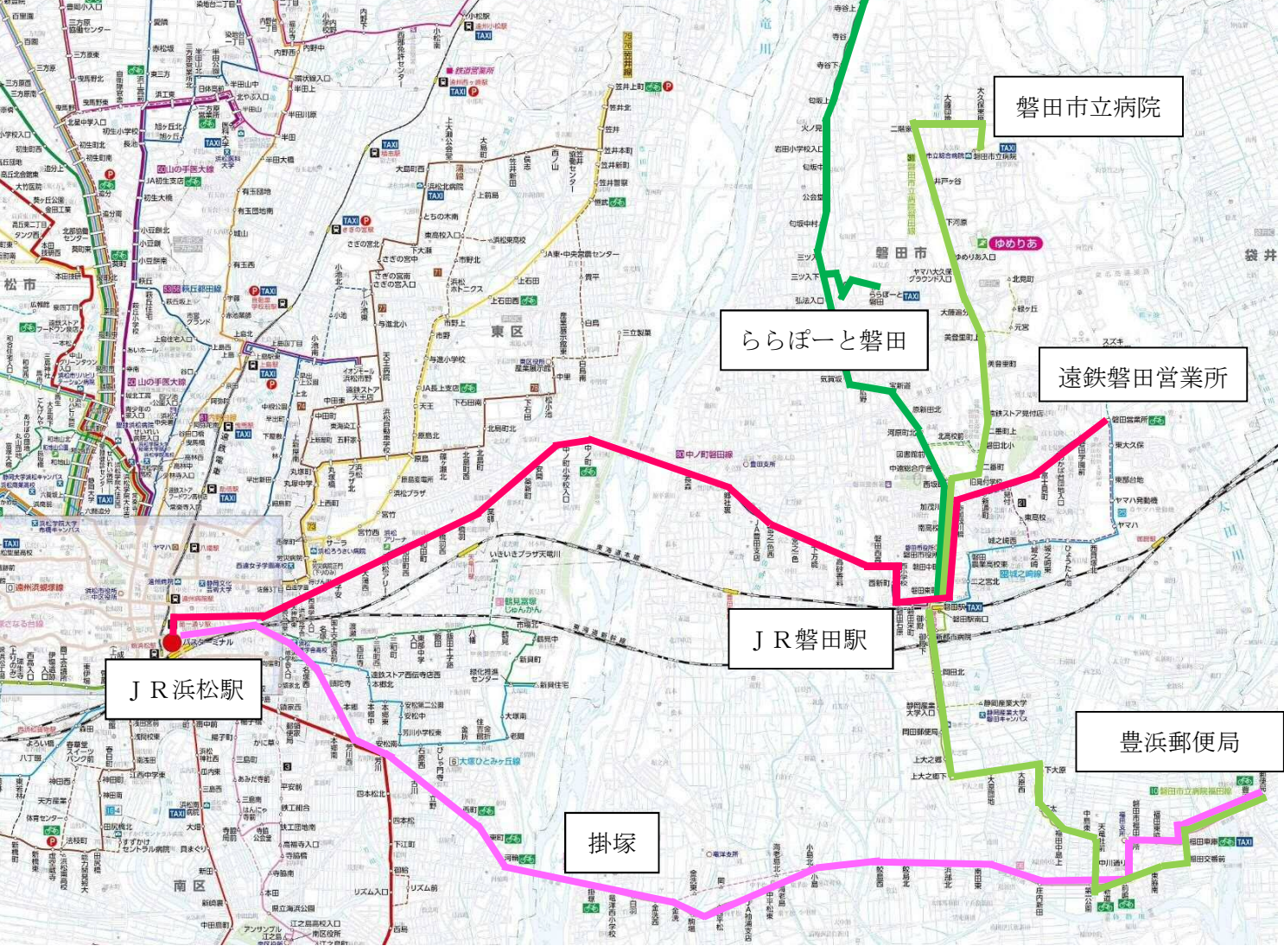
バス停記号の説明

● 普通バス停
 ○ 道路の片側のみポールのあるバス停

凡例
 ① サイクルバスシステム
 ② パークライド
 ③ TAXI タクシー乗り場
 ④ 中継設備については、右よりに記載ください。

磐田市単独継続困難申出路線

No	運行系統名	起点	主な経由地	終点
1	磐田市立病院福田線	磐田市立病院	磐田駅	豊浜郵便局
2		磐田駅南口	福田車庫	豊浜郵便局
3	中ノ町磐田線	浜松駅	中ノ町	磐田駅
4	磐田天竜線	山東	新開	磐田駅
5		山東	ららぽーと磐田	磐田駅
6	掛塚さなる台線	浜松駅	掛塚	豊浜郵便局
7		浜松駅	芳川	掛塚



(2) 単独継続困難申出路線 (事業者市町単独補助系統)

遠州鉄道株式会社 2022年4月現在
遠鉄バス 電車 路線図

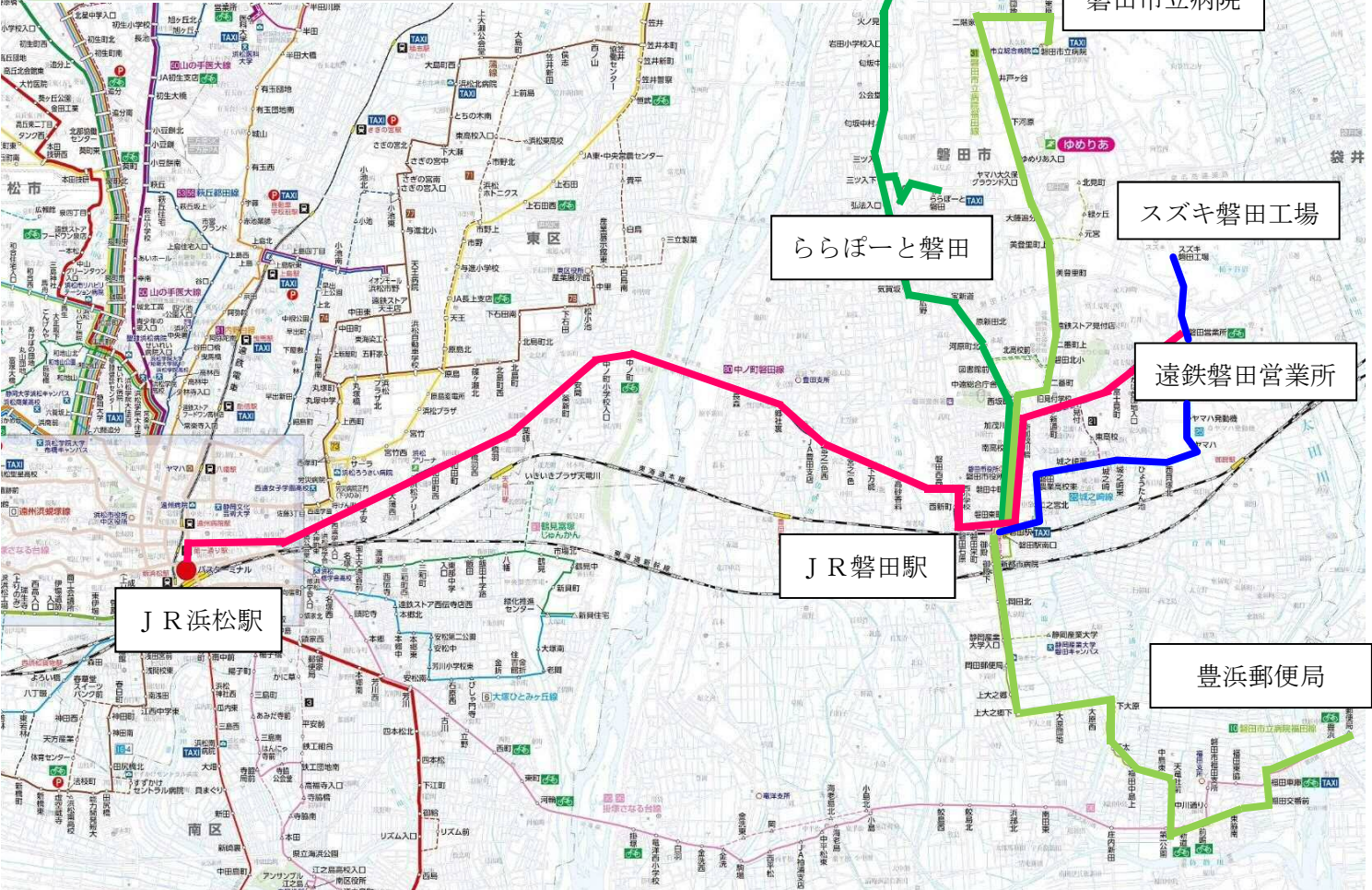
バス運行制度の説明
 太線 概ね平日1時間につき3〜5回運行
 中線 概ね平日1時間につき1〜2回運行
 凡例 平日のみ または 1日1〜2回運行

バス停記号の説明
 ① 遠鉄バス停
 ② 道路の片側のみポールのあるバス停

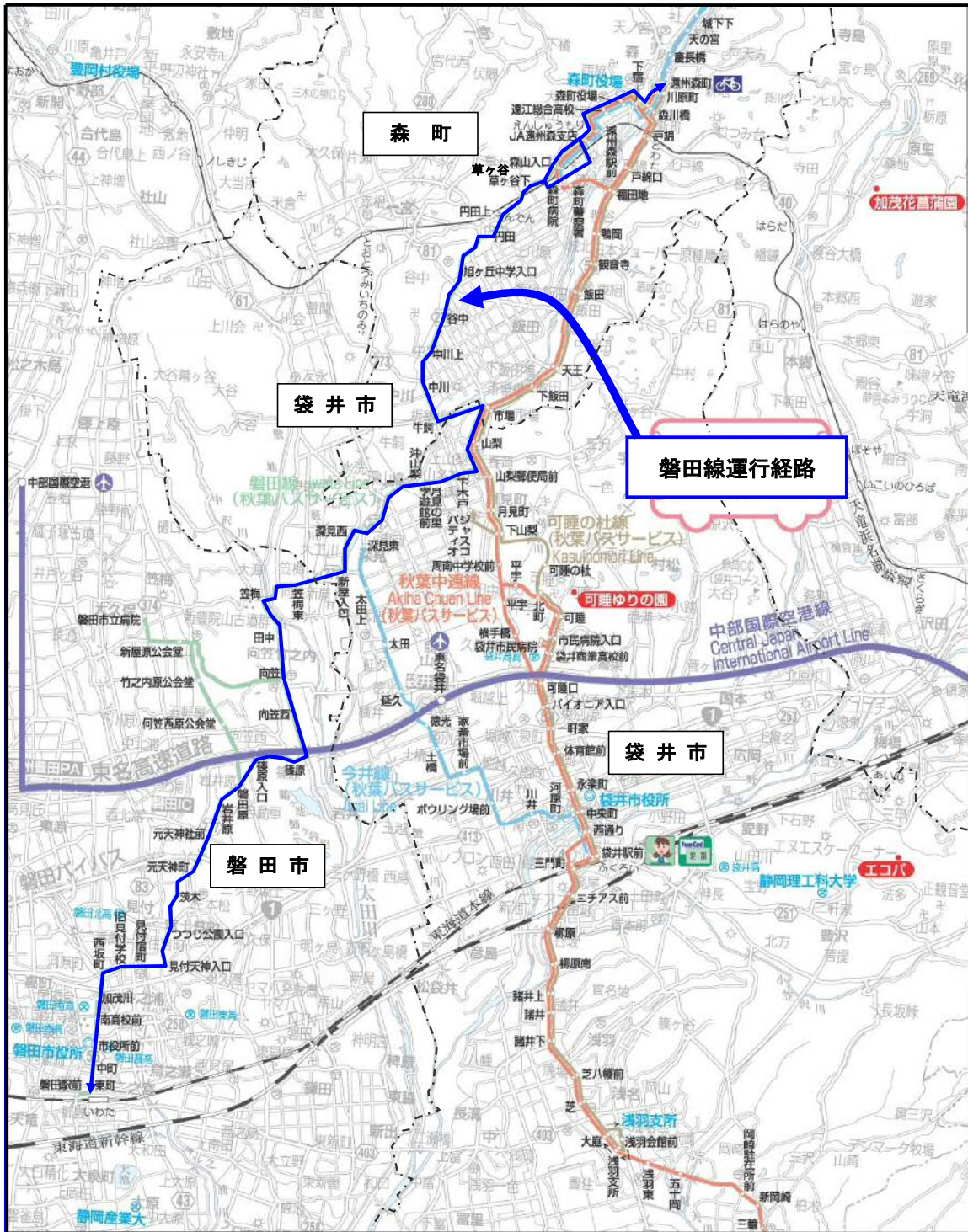
サイクルバスシステム
 パークライド
 タクシー乗り場

磐田市単独継続困難申出路線

No	運行系統名	起点	主な経由地	終点
1	城之崎線	磐田駅	城之崎	磐田営業所
2		磐田駅	城之崎・磐田営業所	スズキ
3		磐田駅	東高校・城之崎	磐田営業所
4	中ノ町磐田線	磐田駅	加茂川	磐田営業所
5		磐田営業所	東高校	浜松駅
6	磐田天竜線	磐田駅	加茂川	ららぼーと磐田
7	磐田市立病院福田線	磐田駅	本通	磐田市立病院
8		磐田駅	北高校前	磐田市立病院
9		磐田駅	加茂川	北高校前
10		北見町	美登里町	磐田北小



「磐田線」路線図



■ 運行内容

(1) 運行系統 2系統

	起点	経由地	終点	キロ程	磐田市内 キロ程
1	遠州森町	森町病院	磐田駅	22.0 km	9.7 km
2	遠州森町	森山入口	磐田駅	21.7 km	9.7 km

(2) 運行日

平日運行（土曜日、日曜日及び祝日は運休）



お助け号

(3) 市自主運行申出路線 2 / 3



「お助け号」って
どんな乗り物？

お助け号は、地区内の
通院や買物などに利用できる乗合
サービスです。
自宅と指定施設の間を、運行時刻を定
め乗合とすることで低額でご利用いた
だけます。
地区外の通院や買物には、路線バスや
一般タクシーをご利用ください。



使い方は？

利用者登録を事前にします。
利用者登録完了の後、電話で利用
する運行便を予約して使います。
詳しい使い方については、次の
ページをご確認ください。



誰が使えるの？

お住いの地区の路線に
限りどなたでも使えます。
ただし、磐田中央線は、
「65歳以上」または、「障
害者手帳等所持者とそ
の介助者のみ」利用する
ことができます。



乗降場所 表示

または

事前予約に基づ
いて運行します。
お急ぎの方は
一般タクシーを
ご利用ください。

「お助け号」は、
一般タクシーのように、
すべての場所に行くこと
はできません。



運行日：月曜日～土曜日
運休日：日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)
運行時刻：最後のページにて確認してください。

磐田市生活バス路線

2023年4月

掛塚磐田駅線マップ

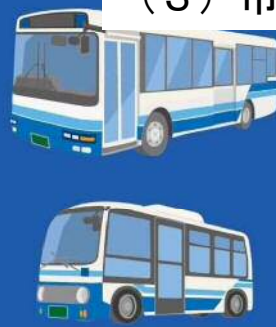
運行日 月曜日～土曜日

※ 日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)は運行しません

問合せ：浜松バス㈱ ☎053-584-4000

http://www.hamabus.co.jp/route/kaketsukaiwata

※ 詳細は浜松バス(株)のホームページをご覧ください



- 凡例
- とつか系統 —
 - 千手堂系統 —
 - 北高系統 (1日1便のみ) —
 - バス停
 - バス停名称
 - 鉄道

とつか系統

● 掛塚行 Outbound line	平日					土曜日				
	1R	2R	3R	4R	5R	1R	2R	3R	4R	5R
磐田駅 Iwata Eki	6:19	7:50	16:15	18:00	19:20	6:19	7:50	16:15	18:00	19:20
西瀬寺 Saikatsura	6:21	7:52	16:17	18:01	19:21	6:21	7:52	16:17	18:01	19:21
上野公園 Ueno-Koen	6:22	7:54	16:17	18:02	19:22	6:22	7:54	16:17	18:02	19:22
豊田西高 Toyoshima-Nishi	6:23	7:55	16:18	18:03	19:23	6:23	7:55	16:18	18:03	19:23
豊田南高 Toyoshima-Minami	6:24	7:57	16:20	18:05	19:25	6:24	7:57	16:20	18:05	19:25
天竜 Tenryu	6:28	7:59	16:22	18:08	19:27	6:28	7:59	16:22	18:08	19:27
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:28	8:00	16:22	18:08	19:28	6:28	8:00	16:22	18:08	19:28
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:27	8:02	16:23	18:09	19:29	6:27	8:02	16:23	18:09	19:29
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:28	8:03	16:24	18:10	19:30	6:28	8:03	16:24	18:10	19:30
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:30	8:05	16:26	18:12	19:32	6:30	8:05	16:26	18:12	19:32
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:30	8:04	16:25	18:11	19:31	6:30	8:04	16:25	18:11	19:31
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:32	8:06	16:28	18:13	19:34	6:32	8:06	16:28	18:13	19:34
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:33	8:05	16:31	18:14	19:35	6:33	8:05	16:31	18:14	19:35
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:34	8:10	16:32	18:15	19:36	6:34	8:10	16:32	18:15	19:36
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:35	8:11	16:33	18:16	19:37	6:35	8:11	16:33	18:16	19:37
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:35	8:11	16:33	18:16	19:37	6:35	8:11	16:33	18:16	19:37
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:36	8:12	16:34	18:17	19:38	6:36	8:12	16:34	18:17	19:38
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:37	8:13	16:35	18:18	19:39	6:37	8:13	16:35	18:18	19:39
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:38	8:14	16:37	18:24	19:45	6:38	8:14	16:37	18:24	19:45
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:40	8:15	16:38	18:25	19:47	6:40	8:15	16:38	18:25	19:47
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:40	8:15	16:38	18:25	19:47	6:40	8:15	16:38	18:25	19:47
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:42	8:17	16:39	18:26	19:49	6:42	8:17	16:39	18:26	19:49
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:42	8:18	16:40	18:27	19:50	6:42	8:18	16:40	18:27	19:50
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:44	8:19	16:42	18:29	19:52	6:44	8:19	16:42	18:29	19:52
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:45	8:20	16:47	18:34	19:58	6:45	8:20	16:47	18:34	19:58
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:46	8:21	16:48	18:35	19:59	6:46	8:21	16:48	18:35	19:59
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:48	8:23	16:53	18:41	20:05	6:48	8:23	16:53	18:41	20:05
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:48	8:23	16:53	18:41	20:05	6:48	8:23	16:53	18:41	20:05
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:50	8:26	16:58	18:48	20:12	6:50	8:26	16:58	18:48	20:12



千手堂系統 北高系統

● 掛塚行 Outbound line	平日					土曜日				
	1R	2R	3R	4R	5R	1R	2R	3R	4R	5R
磐田駅 Iwata Eki	6:40	8:34	16:43	18:10	19:58	6:40	8:34	16:40	18:10	19:58
磐田北高 Iwata-Kita	6:42	8:37	16:45	18:14	19:58	6:42	8:37	16:45	18:14	19:58
西瀬寺 Saikatsura	6:42	8:37	16:45	18:14	19:58	6:42	8:37	16:45	18:14	19:58
天竜 Tenryu	6:43	8:38	16:46	18:15	19:59	6:43	8:38	16:46	18:15	19:59
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:45	8:40	16:48	18:18	20:01	6:45	8:40	16:48	18:18	20:01
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:46	8:41	16:47	18:19	20:02	6:46	8:41	16:47	18:19	20:02
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:46	8:42	16:48	18:20	20:02	6:46	8:42	16:48	18:20	20:02
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:46	8:42	16:48	18:21	20:02	6:46	8:42	16:48	18:21	20:02
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:48	8:43	16:49	18:22	20:03	6:48	8:43	16:49	18:22	20:03
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:51	8:46	16:53	18:25	20:06	6:51	8:46	16:53	18:25	20:06
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:51	8:47	16:54	18:26	20:06	6:51	8:47	16:54	18:26	20:06
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:52	8:48	16:55	18:27	20:08	6:52	8:48	16:55	18:27	20:08
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:52	8:49	16:56	18:28	20:08	6:52	8:49	16:56	18:28	20:08
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:53	8:49	16:56	18:28	20:09	6:53	8:49	16:56	18:28	20:09
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:55	8:50	16:57	18:29	20:11	6:55	8:50	16:57	18:29	20:11
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:56	8:51	16:57	18:30	20:12	6:56	8:51	16:57	18:30	20:12
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:58	8:52	16:58	18:31	20:12	6:58	8:52	16:58	18:31	20:12
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:58	8:52	16:58	18:31	20:12	6:58	8:52	16:58	18:31	20:12
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:59	8:53	16:59	18:32	20:13	6:59	8:53	16:59	18:32	20:13
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	6:59	8:53	16:59	18:32	20:13	6:59	8:53	16:59	18:32	20:13
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	7:00	8:54	17:02	18:38	20:18	7:00	8:54	17:02	18:38	20:18
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	7:02	8:57	17:05	18:41	20:18	7:02	8:57	17:05	18:41	20:18
電洋支所 Ryuyo-Shisyo	7:05	8:57	17:05	18:41	20:18	7:05	8:57	17:05	18:41	20:18



- 感染対策: 乗降時、体調のすぐれない方はバスの利用をお控えください。
- 乗車中はマスクの着用をお願いします。
- バス車内での会話には控え、マスクを着用をお願いします。
- バス車内の空気を入れ替え、換気を行っています。
- バス車内の消毒を行っています。
- 消毒液に基づき国土大臣が承認した使用方法(R3.3.14.89)に従って消毒を行っています。

運行日 月曜日～土曜日 ※日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)は運行しません

デマンド型乗合タクシーの運行内容の変更について

デマンド型乗合タクシーの運行内容を下記のとおり変更するものとする。

記

1 地区内施設

- (1)豊田地区の指定施設「かげやまクリニック」を「磐田としたかクリニック」に改める。
- (2)磐田北部地区の指定施設「中嶋小児科医院」を「ひかりまち診療所」に改める。

2 地区内施設の運賃

利用者宅区分	⇔	施設名	運賃（片道）
豊田地区	⇔	磐田としたかクリニック	400 円/人
磐田北部地区	⇔	ひかりまち診療所	400 円/人

3 実施時期

令和7年2月3日から

磐田市デマンド型乗合タクシー指定施設位置図

施設名 磐田としたかクリニック（旧かげやまクリニック）

住 所 磐田市富里 39-2

理 由 経営者変更に伴いかげやまクリニックから磐田としたかクリニックに
名称変更

【位置図】



【写真】

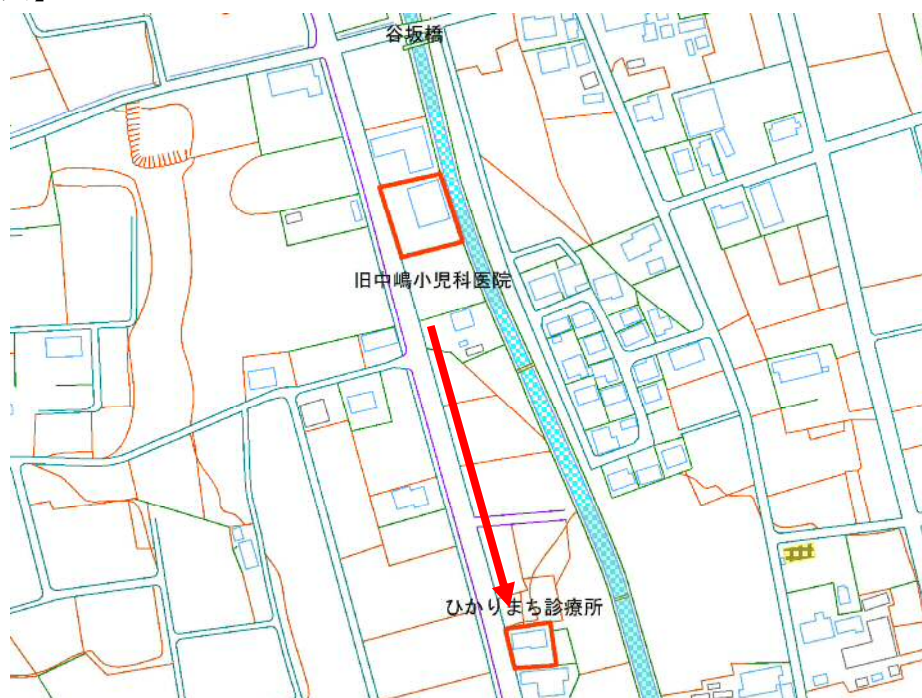


施設名 ひかりまち診療所（旧中嶋小児科医院）

住 所 磐田市大久保 39-2

理 由 移転に伴い中嶋小児科医院からひかりまち診療所に名称変更

【位置図】



【写真】



令和6年度第1回磐田市地域公共交通会議検討部会報告

- 1 日 時 令和6年10月3日（木）10時から11時45分
- 2 場 所 磐田市役所本庁舎1階 第1会議室
- 3 出席者 公共交通会議検討部会委員 9名
- 4 議 題 (1) シンポジウムの開催について
(2) デマンド型乗合タクシーの運賃改定について
(3) 掛塚磐田駅線の運賃改定について
(4) 広域生活バス路線「磐田線」のダイヤ改正について
(5) 新規バス路線の検討状況について
- 5 内 容 別紙のとおり

議題1 シンポジウムの開催について

(1)趣旨

近年、少子化や新型コロナウイルス感染症の影響によりバス路線利用者は減少傾向にある。また、運転免許証返納後の高齢者の移動手段を確保するデマンド型乗合タクシーは、利用者の増加により配車に供給限界がある中で多様化する移動ニーズへの対応が難しくなっている。

よって、市民の公共交通に関する理解を深め、当事者意識を高めるため、公共交通シンポジウムを開催する。

(2)概要

日程	令和7年7月頃
内容	基調講演 パネルディスカッション 展示等
場所	市民文化会館「かたりあ」

(3)意見

- ・公共交通の不満を言う場にならぬよう、工夫が必要である。
- ・内容が難しそうで参加しづらい印象を受ける。

(4)結果

- ・参加しやすいシンポジウムになるよう、内容やあり方を再度検討する。
- ・場合によっては、開催時期も含めて再度検討する。

議題2 デマンド型乗合タクシーの運賃改定について

(1)趣旨

運行経費の上昇により公費負担額と利用者負担額のバランスが取れないため経費の上昇率分の運賃を改定する。

(2)意見

- ・値上げは、やむを得ない。
- ・早めの周知が望ましい。

(3)結果

- ・周知方法について再度検討する。

議題3 掛塚磐田駅線の運賃改定について

(1)趣旨

人件費等の高騰に伴い、運賃を改定する。

(2)意見

・なし

(3)結果

・周知方法について再度検討する。

議題4 広域生活バス路線「磐田線」のダイヤ改正について

(1)趣旨

交通状況により慢性的に遅延が発生しているため、令和6年10月1日から現状に合わせたダイヤに改正した。

(2)時刻表

次ページ「磐田線バス時刻表」のとおり

(3)意見

・なし

議題5 新規バス路線の検討状況について

(1)趣旨

地域公共交通計画に示す豊田町駅北側、御厨駅南側の新規検討路線の検討状況について報告し、今後の進め方について協議した。

(2)概要

実証実験の実施に向けて具体的な検討を行うため、中学生や高齢者、駅利用者といった想定される利用者層に対してヒアリングを実施した結果、中学生から「悪天候時等以外はバスを使用することは考えていないが、高齢者のためにはバスが必要ではないか。」との意見が出た一方で、高齢者からは「バスの利用は難しく、ドア to ドアの移動がいい。」との意見が出たりするなど、様々な意見をいただいた。

(3)意見

・定時定期による路線バスの運行は困難である。

(4)結果

・あらゆる交通手段の可能性を研究する。